浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）

図　番	図　面　名　称		縮　尺
M－0	図面リスト		
M－1	機械設備工事	特記仕様書	
2	機械設備工事	工事区分表	
3	機械設備工事	付近見取図、計画配置図	1/2500,1/300
4	機械設備工事	工事ローテーション図、参考工程表	1/800
5	衛生設備図	撤去、新設　桝リスト、機器リスト	
6	衛生設備図	改修　屋内消火栓設備系統図、撤去、新設　機器リスト	
7	衛生設備図	既設改修　１階平面図	1/100
8	衛生設備図	既設改修　２階平面図	1/100
9	衛生設備図	既設改修　１階平面詳細図－１	1/50
10	衛生設備図	既設改修　１階平面詳細図－２	1/50
11	衛生設備図	既設改修　１階平面詳細図－３	1/50
12	衛生設備図	既設改修　２階平面詳細図－１	1/50
13	衛生設備図	既設改修　２階平面詳細図－２	1/50
14	衛生設備図	既設改修　２階平面詳細図－３	1/50
15	衛生設備図	保温施工標準図　No.１	
16	空調設備図	新設、既設　機器リスト	
17	空調設備図	改修　GHP-S1:空調系統図	
18	空調設備図	改修　GHP-S2:空調系統図	
19	空調設備図	既設改修　１階平面図	1/100
20	空調設備図	既設改修　２階平面図	1/100

図　番	図　面　名　称		縮　尺
M－21	空調リモコン配線設備図	既設改修　１階平面図	1/100
22	空調リモコン配線設備図	既設改修　１階平面図	1/100
23	換気設備図	新設　機器リスト	
24	換気設備図	既設改修　１階平面図	1/100
25	換気設備図	既設改修　２階平面図	1/100
26	衛生設備図	既設撤去　１階平面図	1/100
27	衛生設備図	既設撤去　２階平面図	1/100
28	衛生設備図	既設撤去　１階平面詳細図－１	1/50
29	衛生設備図	既設撤去　１階平面詳細図－２	1/50
30	衛生設備図	既設撤去　１階平面詳細図－３	1/50
31	衛生設備図	既設撤去　２階平面詳細図－１	1/50
32	衛生設備図	既設撤去　２階平面詳細図－２	1/50
33	衛生設備図	既設撤去　２階平面詳細図－３	1/50
34	空調設備図	撤去、既設　機器リスト	
35	空調設備図	既設撤去　１階平面図	1/100
36	空調設備図	既設撤去　２階平面図	1/100
37	空調リモコン配線設備図	既設撤去　１階平面図	1/100
38	空調リモコン配線設備図	既設撤去　２階平面図	1/100
39	換気設備図	撤去　機器リスト	
40	換気設備図	既設撤去　１階平面図	1/100

図　番	図　面　名　称		縮　尺
M－41	換気設備図	既設撤去　２階平面図	1/100
42	建築参考図	仮設計画図-１　（仮設関連工事）ＳＴＥＰ１・	1/300
43	建築参考図	仮設計画図-２　（長寿命化工事）ＳＴＥＰ２	1/300
44	建築参考図	仮設計画図-３　（仮設解体復旧工事）ＳＴＥＰ３	1/300
45	建築参考図	本館棟　改修後　１階平面図	1/200
46	建築参考図	本館棟　改修後　２階平面図	1/200
47	建築参考図	本館棟　改修後　屋根伏図	1/200
48	建築参考図	本館棟　改修後　立面図－１　外部仕上表	1/150
49	建築参考図	本館棟　改修後　立面図－２　外部仕上表	1/150
50	建築参考図	本館棟　改修前　矩計図－１	1/30
51	建築参考図	本館棟　改修後　矩計図－１	1/30
52	建築参考図	本館棟　改修前　矩計図－３（配膳室・ひまわりルーム）	1/30
53	建築参考図	本館棟　改修後　矩計図－３（配膳室・ひまわりルーム）	1/30
54	建築参考図	本館棟　改修前　１階天井伏図	1/200
55	建築参考図	本館棟　改修前　２階天井伏図	1/200
56	建築参考図	本館棟　改修後　１階天井伏図	1/200
57	建築参考図	本館棟　改修後　２階天井伏図	1/200

長　浜　市

建築事務所 BCY'S

株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

訂正	月　日	月　日	月　日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No.

工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事 表紙、図面リスト

SCALE 1： 1： 1： 1：

M

No. 0／57

浅井小学校本館等長寿命化改修工事(機械設備)

設計図　令和　6　年　3　月

Ⅰ 工事概要

工事場所：長浜市当目町

工事期間：令和7年4月1日から令和8年8月28日まで

建物概要

NO	建物名称	構造	階数	竣工年度	備考
1	本館棟	RC	2	昭和52年	1844.00m2
2					改修
3					
4					

概要説明：・本工事は、浅井小学校本館等長寿命化改修工事に伴う機械設備工事一切を行う。

別途工事：・仮設校舎リース工事、長寿命化改修工事に伴う建築工事、電気設備工事

特記事項：・

・

Ⅱ 設備工事仕様

1．標準仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書　（最新版）」（以下「改修標仕」という。）「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下「標仕」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）」による。また、工事管理については国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事監理指針　（最新版）」を参考とする。

施工に際し、施工手引き書である機械設備工事施工チェックシートに従う。

2．特記仕様書の表記

（1）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。

⊙ 印の付かない場合は、＊印の付いたものを適用する。

⊙ 印と ◎ 印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の［　．　］内表示番号は，改修標仕の当該項目，当該図又は当該表を示す。

（　．　）内表示番号は，標仕の当該項目，当該図又は当該表を示す。

Ⅲ 一般共通事項

① 施工基準

本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、質問回答書、現場説明書、本特記仕様書を含む図面、標仕及び改修標仕により完全に施工する。

上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。　[1.1.1]

本図は工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。その他関係諸法規に基づき完全に施工する。

② 工事実績情報の登録（CORINS）

請負金額が500万円以上の場合は、契約(変更)、完成時のそれぞれ10日以内に登録すること。　[1.1.4]

③ 提出図書

＊施工計画書	提出部数　＊1部	[1.2.2]
・施工図	提出部数　＊1部	[1.2.3]
・完成図	提出部数　＊2部（A1、A3版縮小製本及び電子媒体）	[1.8.3]
・保全に関する資料	提出部数　＊2部　・　部	[1.8.4]

④ 施工体制

受注者等は、公共工事入札契約適正化法に基づき施工体制台帳の写しを提出すること。

また、市担当者から施工体制の点検を求められたら対応し、指摘がある場合は是正すること。　[1.3.1]

⑤ 技術管理

請負人は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理に当ると共に建築主体工事、電気設備工事、その他関連工事についてその施工者と綿密な連絡をとり全工事に支障なき様施工する。

⑥ 施工条件

次に指定する工程・作業は指定の日時に行うこと。　[1.3.3]

工程・作業	指定日時

⑦ 地元説明会

受注者等は、施工に先立ち地元自治会、近隣住人等に工事施工内容の説明を行うこと。　[1.3.5]

⑧ 近隣家屋の調査

受注者等は、工事の着手前および完了後に、図示部分の近隣家屋調査を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。また、受注者が自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。　[1.3.5]

⑨ 総括安全衛生管理義務者

労働安全衛生法第３０条第２項の総括安全衛生管理義務者には、（　＊建築工事　・　電気設備工事・機械設備工事）　の受注者等を指名する。　[1.3.5]

⑩ 安全対策

各種関係法令に基づき、常に工事の安全に留意し、施工に伴う災害及び事故の防止に努め、施工の各段階において、騒音、振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺の環境保全を図り工事全般の対策を講ずること。

また、施設運営にも担当者と協議を行い支障のないよう努めること。　[1.3.5～8]

⑪ 公害対策

工事着手前に付近の状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事竣工まで万全の対策を講ずること。　[1.3.9]

⑫ 産業廃棄物の処理

受注者等は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けること。

（1）本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。

（2）「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。

（3）請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第１２条の３による マニフェストシステムにより的確に実施すること。　[5.1.1～2]

⑬ 発生材の処理等

＊構外搬出適切処理　・指定（　　）　[5.1.1～2]

⑭ 石綿含有建材の事前調査制度

＊大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿隣害予防規則、その他石綿処理に関する法令等に基づき実施すること。また、調査結果を石綿事前調査結果報告システム等を使用し報告を行うこと。

1．調査範囲、既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与等は、下記による。

調査範囲　⊙当該施工範囲　・図示

貸与書類　⊙建設当初図面　⊙調査結果　9面所（消火管エルボ保温材）

分析方法　⊙JIS に規定されている定性分析方法にて行うこと。

⊙JIS に規定されている定性分析を行った上定量分析を行うこと。

測定箇所　・　箇所　・図示

⑮ 技能士

適用工事種別　⊙配管施工：1級　・熱絶縁施工：1級

・冷凍・空気調和機施工：1級　・建築板金施工　[1.6.2]

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度をパッシブ法にて測定し、報告すること。

また、基準値を満たさない場合は、対策を講じたのち再測定を行うこと。

測定箇所　・　箇所　・図示　[1.6.9]

⑯ 化学物質の濃度測定

⑰ 取扱説明書の作成

竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。（部数、詳細については、監督職員の指示による。）　[1.8.4]

⑱ 現場代理人等

イ「長浜市現場代理人の常駐に関する運用基準」に従い、現場代理人を決定し届け出ること。

ロ　現場代理人は、受注者等との直接的な雇用関係を証するものを「現場代理人等届」に添付すること。また、「現場代理人等変更届」も同様とする。

ハ　主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。

ニ　現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。

区分	撮影箇所	提出部数	備考
着工前、完成	＊3　＊6　・15　・30	3	同じ位置で撮影すること。
工事中		1	必要に応じ撮影する
定期提出	代表的な出来高の部分	1	工事月報用

⑲ 工事写真

工事写真の撮影要領は、「工事写真撮影ガイドブック・機械設備工事編」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。

竣工写真はキヤビネ版カラープリントによる写真を製本し、また、画像データを電子媒体で各１部提出すること。

⑳ 竣工写真

㉑ 下請業者等の選定

各種下請業者、製造所等市内で供給出来るものについては、極力市内業者を選定すること。製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。

㉒ 保険等

受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事組立保険等を工事目的物に付すとともに、労働災害保険及び第三者等への対人賠償、対物賠償についても補償する保険に加入し、その証書の写しを監督員に提出すること。

また、本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。

工事中に万一事故が発生した場合は、速やかに監督員に連絡すること。

㉓ 設計図の製本

工事着手前に製本を作成し、監督職員に提出のこと。　A3サイズ　5部数（CADデータ共）

㉔ 軽微な変更

設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、請負金額の増減対象としない。

㉕ 不当介入に関する通報制度

1．受注者等は暴力団員等による不当介入（不当な要求又は業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。

2．受注者等は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、受注者等は以下のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して十分に指導を行うものとする。

3．受注者等は暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかかにり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

㉖ 特殊な材料の工法

㉗ 各種検査各種書等

各種標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書およびその写し各１部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。

㉘ 建築工事との取合

各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通補強及び仕上げ部分、軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開口補強は建築工事とする。

㉙ シンナー等の保管

シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止するとともに、保管数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配すること。

㉚ 火気の管理

㉛ 過積載防止の措置

受注者等は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出すること。

㉜ 騒音振動の防止

受注者等は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成13年国土交通省告示第487号）」に基づき指定された建設機械（'97ラベル）を使用すること。

㉝ 不法無線局の排除

受注者等は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、不法無線局を搭載していると疑われない車両を発見したときは、速やかに監督職員にその旨報告すること。

㉞ ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ

バリアフリー化にあたっては、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」を遵守すること。

㉟ 別途工事との連絡協議

受注者等は、工事別の業者間で互いに連絡を取り、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取り分けについて図示がある場合においても、施工時に必要に応じて協議を行い連絡を密にすること。

㊱ 申請等

本工事における官公庁の各検査および完了にかかる消防法等、すべての法的検査は受注者等にて行うものとする。また、その費用（手数料共）は一切受注負担とする。

㊲ 仮設電力料金等

本工事に必要な仮設電力、ガス、水道等の引込工事費、負担金、基本料金、使用料金等は引渡し日まで原則として請負人の負担とする。

㊳ 既存設備関係

施工に際し、既設内容、取合いをよく調査すると共に既存設備の担当者と十分協議を行い、その機能を低下せしめてはならない。

㊴ 公害対策

工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。

㊵ 技術検査

工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。

㊶ 施工上の留意事項等

イ　機器の据付、配管支持については、『建築設備耐震設計施工指針』を参考とする。

ロ　当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。

また撤去工事は特に既設配管の行先を確認の上、安全に処理する。

㊷ 長浜市週休２日取組指定工事の実施

本工事は、発注者が工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完了日（工事請負契約の履行した通知である工事完了届書を提出した日）までのうち、非対象期間を除いた期間において全ての月で４週８休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態に取り組むことを指定する週休２日取組指定型工事である。

費用の計上等の運用にあたっては、「長浜市週休２日取組指定型工事実施要領（建築系工事版）」により行う。

＊　適用する（月単位の週休２日）　・　適用しない

㊸ 電気保安技術者

電気保安技術者は、次による者とし、監督職員の承諾を受けること。

＊国土交通省大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事監理指針（最新版）　の定めによる者

・第１種電気工事士

（電気事業法第52条第2項に規定される電気主任技術者を選任しないことができる自家用電気工作物および自家用電気工作物（需要設備）のうち、電圧六百ボルト以下で使用する電気工作物、に係る工事の場合）

・その他（　　）

㊹ 監督職員事務所

規模　1号　2号　3号　4号　5号　（＊設けない）

備品　机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、受注者加入電話の子機、衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。

㊸ 施工上の留意事項等

イ　液化石油ガス設備工事を施工するものは、特定液化石油ガス設備工事事業者であること。

ロ　液化石油ガス設備工事の作業に従事する者は、液化石油ガス設備士であること。

ハ　液化石油ガスの各種検査は、供給者または保安機関の検査を受け合格すること（記録紙および検査写真を提出すること）。

ニ　給水配管の接合剤は、上水道用の接合剤とする（継手指定品を除く）。

ホ　地中埋設の調管類は防食処置を行う。また、コンクリート貫通箇所はプラスチックテープを巻きモルタル埋めする。

ヘ　建物内埋設配管は全てスラブより吊るも（吊り金物：SUS製）のとし、その要領は標準仕様書の屋内配管の支持要領に準ずる。

ト　機械設備工事内で電気設備を含む場合には、別途電気設備工事に全て準ずる。

チ　機器の据付、配管支持については、『建築設備耐震設計施工指針』を参考とする。

リ　風量調整ダンパー、防排煙ダンパー類は、全て工場製作品とし、(財)日本建築センターの防災認定マークを貼付されたものとする。

ヌ　配管には空気だまりの無いように施工し、図示以外で施工必要箇所には自動空気抜き弁を取付ける。

ル　保温工事については、極力滋賀県保温保冷事業協同組合員等県内業者とする。

ワ　当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。また撤去工事は特に既設配管の行先を確認の上、安全処理する。

カ　グリーン購入法に基づき環境負荷の低減に努めること。

種目	適用	項目	特記事項
1 受水設備		工事範囲及び説明	
		負担金等	○要　○不要
		量水器	○貸与　○本工事
		受水タンク	（既設：FRP　新設：SUS）製、容量（有効12）ton、耐震（0.6・1.0・1.5）G
		高置タンク	（　　）製、容量（有効　　）m3、耐震（1.0・1.5・2.0）G
		揚水ポンプ	□径(50)mmφ×(47・33)mH×(3.7)kW　2台自動交互運転
		給水ポンプ	□径(　　)mmφ×(　　)mH×(　　)kW
		配管材料	屋外埋設配管：○硬質塩化ビニル管 HIVP　○ビニルライニング鋼管 VD ○ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋外配管：○ビニルライニング鋼管 VB 屋内配管：○ビニルライニング鋼管 VA　○ポリ粉体ライニング鋼管 PA
		保温工事	施工は標準図による。
		指定業者	上水道本管からの分岐工事は長浜水道企業団指定給水装置工事事業者が行うこと。
		水圧試験	水圧試験を行い漏水のないようにする。
		水質試験	飲適試験(10項目+残留塩素)を行う(1箇所)。
2 給水設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所の給水栓に至る配管工事一切を行う。
	○	給水方式	⊙直圧式　○加圧式　○重力式
	○	配管材料	屋外埋設配管：⊙硬質塩化ビニル管 HIVP　○ビニルライニング鋼管 VD ○ポリ粉体ライニング鋼管 PD　○ポリエチレン管 PE 屋内埋設配管：⊙硬質塩化ビニル管 HIVP　○ビニルライニング鋼管 VD ○ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内配管：○ビニルライニング鋼管 VA　○ポリ粉体ライニング鋼管 PA ⊙硬質塩化ビニル管 HIVP
	○	保温工事	施工は標準図による。
	○	水圧試験	水圧試験を行い漏水のないようにする。
	○	継手、弁等	ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆型)、管端防食型弁、ライニング弁を使用する。
	○	水質試験	飲適試験(10項目+残留塩素)を行う(1箇所)。
	○	その他	給水配管の接合剤は、上水道用の接合剤とする(継手指定品を除く)。
3 排水通気設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所の排水器具に至る配管工事一切を行う。
	○	排水方式	○単独式　○合流式　⊙屋内分流屋外合流式
	○	配管材料	屋外配管：⊙硬質塩化ビニル管◎VP・VU　○卵形管 EGP 屋内配管：⊙硬質塩化ビニル管 VP　○排水用鉛管 LP ○排水用鋳鉄管 CIP ○排水用ビニルライニング鋼管 DVLP、⊙耐火二層管
	○	保温工事	施工は標準図による。
	○	その他	曲がり部はできる限り大曲がりエルボを使用し、排水の流通を良くする。 埋戻しは全量、山土（購入土）とし、埋設配管周囲は保護砂で締め固めること。
4 衛生器具設備	○	工事範囲及び説明	衛生陶器、付属金具及び給排水金具の取り付けを行う。
	○	衛生器具	器具リストによる。
5 ガス設備	○	工事範囲及び説明	図示箇所にガス器具及びGHPエアコンに至る配管一切を行う。
	○	負担金等	○不要　○要
	○	ガス計量器	○本工事　○貸付
	○	配管材料	屋外配管：○配管用炭素鋼鋼管（白）、○ポリエチレン被覆鋼管＊○ポリエチレン管（埋設部） 屋内埋設配管：○ポリエチレン被覆鋼管、○ビニル被覆鋼管、⊙ポリエチレン管（埋設部） 屋内配管：○配管用炭素鋼鋼管（白）、○フレキ管（SUS）
	○	試験	接続部のガス漏洩試験を行うこと。
	○	ガスの種別	○都市ガス(13A)、⊙プロパンガス
	○	その他	液化石油ガス設備工事を施工するものは、特定液化石油ガス設備工事事業者であること。 液化石油ガス設備工事の作業に従事する者は、液化石油ガス設備士であること。 液化石油ガスの各種検査は、供給者または保安機関の検査を受け合格すること（記録紙および検査写真を提出すること）。
6 消火設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所の消火設備配管及び消火栓箱に至る配管工事一切を行う。
		消火水槽	（　　）製、容量（有効　　）m3
		消火充水槽	（　　）製、容量（有効　　）m3
	○	消火ポンプ	□径(　　)mmφ×(　　)mH×(　　)kW　機器リストによる
	○	消火栓箱	消火栓箱参考図による。　機器リストによる
	○	消火器	ABC10型
	○	配管材料	屋外配管：ビニル被覆鋼管○　SGP-VS・○STPG-VS(圧力用) ポリエチレン被覆鋼管　SGP-PS・STPG-PS(圧力用) 屋内埋設配管：ビニル被覆鋼管 ⊙SGP-VS・○STPG-VS(圧力用) ポリエチレン被覆鋼管　SGP-PS・STPG-PS(圧力用) 屋内配管：配管用炭素鋼鋼管(白)・○SGP・STPG(圧力用)
7 給湯設備	○	保温工事	屋外露出配管は、保温すること。
	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所の給湯を行う。
	○	温水発生機	○真空式温水発生機　○無圧式温水発生機　⊙ガス湯沸器　○電気温水器
	○	熱源	○A重油　○灯油　⊙LPガス　○都市ガス(13A)　○電気
	○	配管材料	○配管用炭素鋼鋼管 SGP(白)　⊙保温付き被覆鋼管(保温厚14mm以上)○鋼管 ○水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 SGP-VA　○耐熱塩化ビニル管 HTVP
	○	保温工事	施工は標準図による。
	○	その他	火災予防条例の規定による届け出を行うこと。
8 し尿浄化槽設備		工事範囲及び説明	
		構造	○地上式　○地下式　○半地下式（RC)製
		処理方式	○接触濾気式　○長時間濾気式　○　　式
		容量	JIS(　　)人槽、(　　)m3/day
		処理水質	BOD(　　ppm)、SS(　　ppm)、N(　　ppm)、P(　　ppm)
		その他	
9 換気設備	○	工事範囲及び説明	本工事は図示の室を(○1種・　○2種・　⊙3種　)機械換気する。
	○	送風機	⊙換気扇　○全熱交換器
	○	ダクト	⊙スパイラルダクト
	○	保温工事	空調換気扇の外気側給気ダクトは、保温すること。
	○	施工	送風機据付については、防音、防振に注意して施工のこと。
	○	機器	機器リストによる。
10 排煙設備		工事範囲及び説明	
		排煙機	
		排煙方式	A方式＝手動操作　→　排煙ダンパー　→　自動起動盤　→　排煙機 B方式＝煙感知器　→　中継器 手動操作　→　排煙ダンパー　→　自動起動盤　→　排煙機
11 暖房設備	○	工事範囲及び説明	電気式パッケージエアコンとGHPエアコンの更新を行う。
		冷温熱源機	○油焚き吸収式冷温水発生機(二重効用)、 ○水冷チリングユニット　○空冷式ヒートポンプチラーユニット (○ターボ　○スクリュー　○遠心　○吸収　)冷凍機 ○鋳鉄製ボイラー　○鋼製ボイラー
	○	空気調和機	○氷蓄熱空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ　⊙ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ　○空冷式ビル用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ ○ルームエアコン　⊙パッケージエアコン
		放熱器	○ファンコイルユニット　○ファンコンベクタ　○コンベクタ　○ベースボードヒータ
	○	空調機室内機	○床置型　⊙天井吊型　○天井埋込型　⊙壁掛型　○天井カセット型　○床置ダクト型
	○	配管材料	冷温水管：○水道用亜鉛めっき鋼管　○耐熱性ビニルライニング鋼管 冷却水管：○水道用亜鉛めっき鋼管　○ビニルライニング鋼管 VA ○水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA 冷媒配管：○脱酸銅管L　⊙断熱材被覆銅管（国土交通省仕様） 排水配管：⊙硬質塩化ビニル管 VP 油配管：○SUS304溶接鋼管　○圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
12 冷房設備			
13 空気調和設備	○	保温保冷	施工は標準図による。
		自動制御	本工事では次の制御を行なう。 ／　　／ ／　　／
		中央監視	中央監視盤を設け、システムの集中運転監視を行なう。
	○	その他	火災予防条例の規定による届け出を行うこと。
14 追記事項	○	土工事	イ　根切りは、周囲の状況、土質等に適した工法とし、土砂が崩壊しないよう、関係法に従い適切なのりをつけるかまたは山留めを設ける。 ロ　山留めは労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い、安全に設置する。 ハ　山留めは、適切な資料に基づき構造計算を行い、地盤の過大な変形、崩壊を防止できる構造および耐力を有する物とする。 ニ　山留め設置期間中は、常に周囲地盤および山留めの状態を点検、計測し、異常を発見した場合は、直ちに適切な処置をとり、監督職員に報告する。 ホ　山留めの撤去は、撤去しても安全であることを確認した後、慎重に行う。 また、鋼矢板等の抜き跡は、直ちに砂で充填する等、地盤の変形を防止する適切な処置をとる。 ヘ　地中埋設物は、事前に調査する。給水管、ガス管、地中配線等を掘り当てた場合には、これらを損傷しないように注意し、必要に応じて緊急処置を行い、監督員及び関係者と協議して処理する。 ト　土中配管の根切りは、必要な勾配を正確に保持することができ、かつ、管の接合が容易に行える大きさに根切る。 チ　タンク類の基礎や槽等の根切りは、型枠の組立て取外しを見込んだ大きさとする。 リ　寒冷期の施工においては、根切り底の凍結等に注意する。 ヌ　工事用排水はノッチタンク等を設置し濁水を敷地外に排水することがないように処理すること。（ノッチタンクの容量は3m53以上とする。） ル　土のう仮締切による場合は、３段階に締切ることとし、締切る容量が上記のノッチタンク容量にみあうように算定すること。 ヲ　根切り深さが1500以上となる場合は事前に施工計画書を作成、提出し、監督員の承諾を得ること。 ワ　上記の事項以外は建築工事共通仕様書による。

使用機材製造者指定

本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用すること。

また、同等品を使用する場合には、監督員の承諾を得て使用すること。

適用	機材名	製造業者					
＊	ビニルライニング鋼管	JIS規格等適合品製造者					
	ポリ粉体ライニング鋼管	JIS規格等適合品製造者					
＊	ポリエチレン被覆鋼管	JIS規格等適合品製造者					
	水配管用亜鉛メッキ鋼管	JIS規格等適合品製造者					
＊	配管用炭素鋼鋼管	JIS規格等適合品製造者					
＊	塩化ビニル被覆鋼管	JIS規格等適合品製造者					
＊	硬質塩化ビニル管	JIS規格等適合品製造者					
	鉛管	JIS規格等適合品製造者					
＊	鋼管	JIS規格等適合品製造者					
	ステンレス鋼管	JIS規格等適合品製造者					
	量水器・BOX	長浜水道企業団指定品					
	タンク	森松工業	ベルテクノ	積水ｱｸｱｼｽﾃﾑ	三菱ｹﾐｶﾙｲﾝﾌﾗﾃｯｸ		
＊	ポンプ	川本製作所	荏原製作所	テラル	鶴見製作所		
＊	弁類	JIS規格等適合品製造者					
＊	バタフライ弁	JIS規格等適合品製造者					
＊	防振継手	トーゼン	トーフレ	ゼンシン	ブリジストン		
＊	ﾌﾚｷｼﾞﾌﾟﾙｼﾞｮｲﾝﾄ(SUS)	JIS規格等適合品製造者					
	ﾌﾚｷｼﾞﾌﾟﾙｼﾞｮｲﾝﾄ(ｺﾞﾑ)	JIS規格等適合品製造者					
＊	排水金物類	伊藤鉄鋼	カネソウ	小島製作所	ダイドレ	長谷川鋳工所	福西鋳物
＊	塩ビ桝類	前澤化成工業	タキロン	アロン化成			
＊	グリストラップ	プレハイ工業	ホーコス	小島製作所	ダイドレ	長谷川鋳工所	
＊	衛生陶器類	TOTO	LIXIL(INAX)				
＊	消火栓箱	立売堀製作所	横井機販	初田製作所			
	温水発生機	ヒラカワ	タクマ	昭和鉄工			
＊	瞬間湯沸器	バーバス	ノーリツ	パロマ	リンナイ		
	電気温水器	三菱電機	東芝キャリア	日立	パナソニック	コロナ	イトミック
	厨房機器	ニチワ電機	タニコー	フジマック	日本イトミック		
	ガス集合装置	供給者認定品					
＊	ガスコック類	供給者認定品					
	浄化槽	クボタ	ダイキ	ベスト			
	送風機	三菱電機	日立	パナソニック	東芝キャリア	ダイキン工業	荏原製作所
＊	換気扇	三菱電機	日立	パナソニック	東芝キャリア	ダイキン工業	荏原製作所
	全熱交換器	三菱電機	日立	パナソニック	東芝キャリア	ダイキン工業	
	排煙機	三菱電機	日立	パナソニック	東芝キャリア	荏原製作所	
	防火・防煙・排煙ダンパー	(財)日本建築センター防災性能評定品					
	冷凍機	三菱電機	日立	ダイキン工業	パナソニック	川重冷熱	荏原製作所
	冷温水発生機	矢崎	パナソニック	川重冷熱	荏原製作所	日立	
	冷却塔	空研工業	ダイキン工業	信和産業	日本スピンドル	三菱樹脂	
＊	空調機	パナソニック	ダイキン工業	三菱電機	ヤンマー	アイシン	
	放熱器	ダイキン工業	日立	パナソニック	三菱電機	三菱重工	
	ファンコイルユニット	ダイキン工業	日立	パナソニック	三菱電機	三菱重工	
	吹出口・吸込口	協立エアテック	新晃工業	空研工業	ホーコス	ユニックス	
	製缶類	チカタン	サトウ鐵工	島倉鉄工所	三成鉄工		
	自動制御機器	鷺宮製作所	トキメック	山武ハネウェル	横河ジョンソン		

工　事　区　分　表

下記の項目は ○ 印部分を区分して施工する。但し図面その他に特記のあるものは、それに従う。

No	工　事　項　目	建築	機械	電気			別途	備　考
1	躯体貫通スリーブ入・箱入							
2	躯体貫通孔・箱入れ部の施工後の孔埋め							
3	設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋							補強数量表による
4	地下消火水槽、蓄熱槽などの躯体内外防水仕上、マンホール、タラップ並びに連通管							
⑤	点検口の製作取付（床、壁、天井）	○						
⑥	吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための墨出し		○	○				
⑦	吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための孔開・補強	○						補強数量表による
⑧	建物外壁に取付く給・排気ガラリの製作取付	○	○					レジスターは建築工事
⑨	建具ガラリの製作取付	○						建具表による
⑩	機械・機器類の基礎		○	○				図示による
⑪	機器用アンカーボルト		○	○				
⑫	受水槽・高架水槽・キュービクル		○	○				
13	受水槽・高架水槽用基礎	○						
14	オイルタンク							
15	同上基礎及び躯体							図示による
16	サービスタンク用防油堤							
17	グリストラップ							
⑱	既製品流し・ガス台	○						
19	便所廻りの手すり							
⑳	換気扇		○					
㉑	同上取付枠		○					
㉒	天井扇・ダクト・ガラリ・ベントキャップ		○					
㉓	フードの製作・取付		○					
㉔	空調自動制御盤及び機器の取付・配管配線・調整		○					
㉕	同上の一次側配管配線工事			○				
㉖	防煙シャッターの一次側配管配線			○				
㉗	防煙シャッターの二次側配管配線・調整			○				
㉘	同上煙感知器・連動装置・制御盤			○				
㉙	防火扉の一次側配管配線			○				
㉚	防火扉の二次側配管配線・調整、開放装置			○				
㉛	同上煙感知器・連動装置・制御盤			○				
㉜	煙感知器連動のダンパーのレリーズ(防煙シャッター用)			○				
㉝	同上用の感知器及び配管配線			○				
㉞	同上用非常電源装置			○				
35	自動ドアの取付及び調整・検査スイッチ、駆動装置二次側配線							
36	同上一次側配管配線							
㊲	液面電極棒の取付及び調整			○				
38	受水槽（ポンプ室）一次側配管配線							
39	同上二次側配管配線・調整							
㊵	便所用及び給湯設備の一次側配管配線			○				
㊶	同上二次側配管配線・調整		○					
42	合併処理槽の躯体・モルタル仕上・マンホール・チェッカープレート							
43	同上内部装置・機械配管及び二次側配管配線							
44	同上一次側配管配線							
45	手洗いカウンター							

No	工　事　項　目	建築	機械	電気			別途	備　考
46	洗面カウンター用洗面器							
㊼	消火ポンプユニット一次側配管配線			○				
㊽	消火ポンプユニット・二次側配管配線・調整			○				
㊾	照明器具・配管・ライティングダクト等吊ボルト用インサート			○				
㊿	ダクト・給排水管等吊りボルト用インサート		○					
51	厨房器具							
52	同上接続配管・電源接続工事							
(53)	実験台、調理台	○						
(54)	同上接続配管・電源接続工事		○	○				
55	設置機器取付用ＡＬＣ版等の孔明け及び補強							
(56)	消火器	○						変電設備・ＥＶ機械室については、各工事に含む
(57)	ルーフドレイン	○						
(58)	汚水・雑排水の会所桝・排水管		○					
59	ユニットバス本体及び据え付け(ユニットシャワー含む)							
(60)	洗濯機パン							
61	上水道引込工事							加入金別途
62	下水道引込工事（公桝設置）							既存引込管流用
63	都市ガス引込工事							敷地内は本工事とし、市道部は別途工事
64	洗面化粧台							
65	ユニットシャワー用シャワーバス水栓							US付属品
66	ユニットシャワー用排水管接続							
(67)	外構フェンス及び基礎	○						
(68)	雨水排水の会所桝・排水管	○						
(69)	ヒートポンプエアコン機器		○					
(70)	同上冷媒配管及びドレン管		○					
(71)	同上一次側配管配線			○				
(72)	同上二次側配管配線		○					
(73)	同上室外機基礎・架台（Ｈ）	○						図示による
74	昇降機の一次側配管配線							
75	昇降機の出入口・三方枠・カゴ内インターホン取付・制御盤・二次側配管配線							
76	昇降機のインターホン用配線							
77	昇降機のインターホン用配管（シャフト内）							
78	昇降機のインターホン用配管（シャフト外）							
79	監視室等のインターホン取付調整							
80	昇降機用油配管工事							
81	同上用床ピット							
82	昇降機機械室防油堤							
83	昇降機ピット内点検用コンセント							
84	昇降路・ピットモルタル防水仕上げ							
85	昇降機機械室内ホイスティングフック							
86	昇降機各出入口・インジケーター押ボタン等の孔明工事							
87	昇降機機械室床シンダーコンクリート打設及び防塵塗装							
88	昇降機機械室内換気扇・サーモスタットの取付							
(89)	竣工時までの工事用及び調整用電気・水道・ガス等基本料、使用料	○	○	○				
(90)	電動シャッター　１次側			○				
(91)	電動シャッター　２次側			○				
(92)	防火上主要な間仕切り壁の既設開口部の穴埋め措置	○						
(93)	防火上主要な間仕切り壁の既設開口部の配管撤去後の防火区画措置		○	○				

設　備　用　の　開　口　補　強　数　量　表

１．設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋

１）梁貫通補強筋（貫通孔Ｄ／３以下、梁巾＝４００以下の場合、Ｄは梁せい）

貫通内径（φ）		数　量	備　考
100＜H≦200	φ125		
	φ150		
	φ200		
200＜H≦300			
300＜H≦400			

※貫通内径１００φ未満の時は補強を必要としない　　Ｈ：貫通内径mm

２）スラブ開口補強筋

開口面積（ｍ２）	数　量	備　考
Ａ≦０．３		
０．３＜Ａ≦１．０		

※スラブ筋を切断しない場合は補強を必要としない。　　Ａ：開口面積ｍ２

３）壁開口補強

開口面積（ｍ２）	数　量	備　考

※壁筋を切断しない場合は補強を必要としない。

２．設備用下地材開口補強

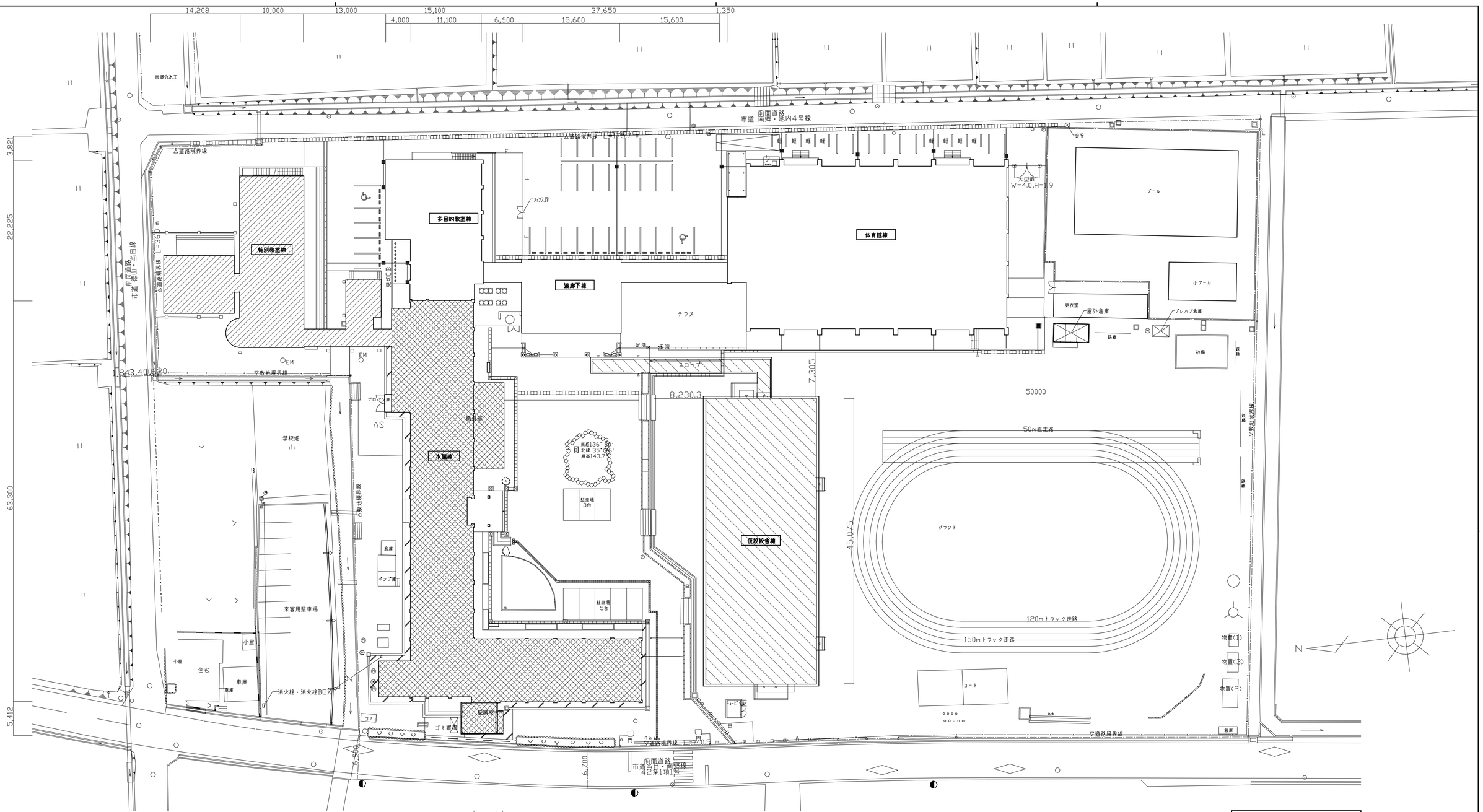
１）壁開口補強　軽量鉄骨下地、木軸等

開口寸法（mm）	数　量	備　考
1040 X 1370H	3	機械（屋内消火栓）HB-2

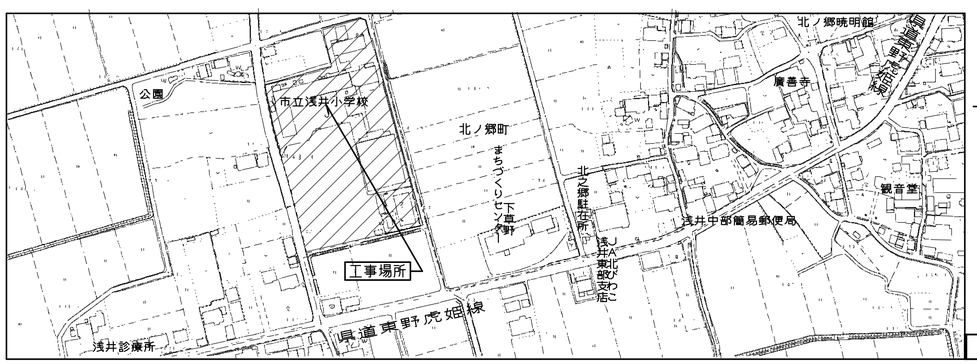
２）天井開口補強

開口寸法（mm）	数　量	備　考	開口寸法（mm）	数　量	備　考
315 X 315	5	機械（F24-1,F-1）			
260 X 260	3	機械（F24-2,F-2）			
φ100	2	機械（OAG-1）			
φ150	4	機械（OAG-2）			
φ200	2	機械（OAG-3）			
φ160	38	電気(埋込スピーカー)			
1235 X 220	26	電気照明（E-31）			
450 X 450	10	電気照明（F-41）			
φ150	4	電気照明（J-7W）			

特記事項
１．設備用の開口補強数量は設計上の必要数量であり、施工上必要個所と相違ある場合には監督職員の指示により、数量が増減するも工事金額内で処理する。



計画配置図 S=1:300



付近見取図 1:2500

訂正	月 日		月 日		月 日	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

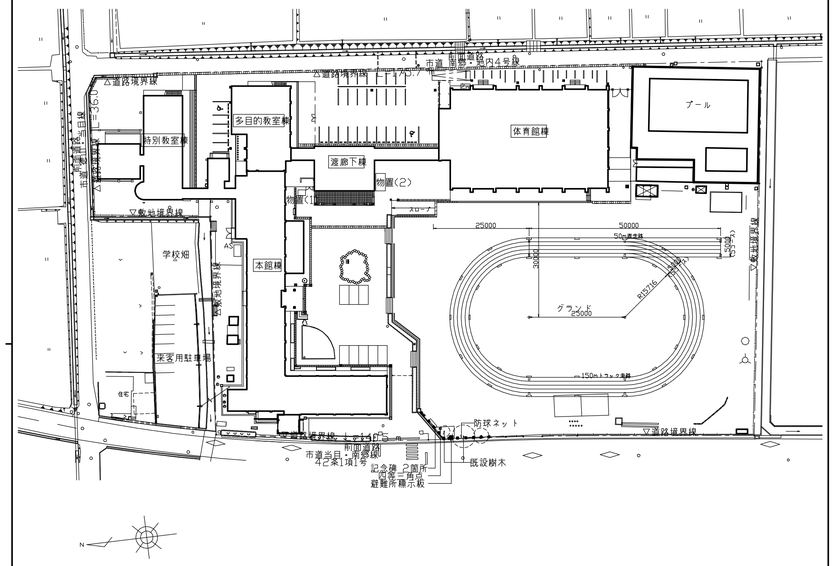
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山 木 勝 義

FILE No.

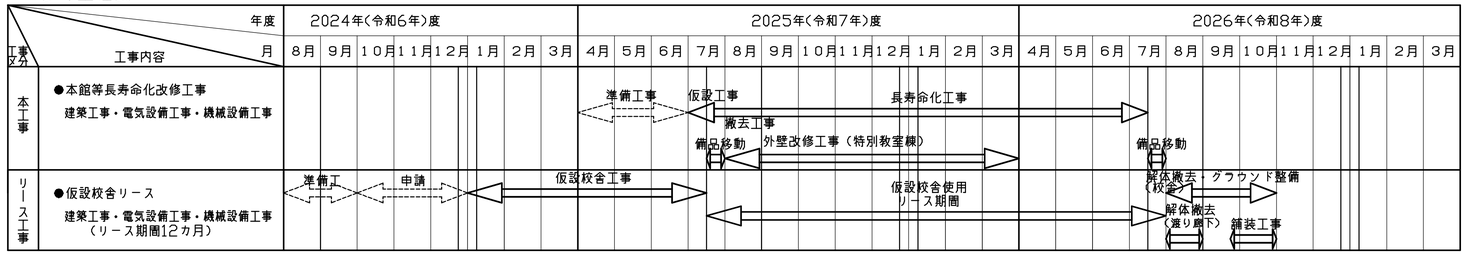
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1 :	M
付近見取図	1 :2500(A1), 1 :5000(A3)	No. 3/57
計画配置図	1 : 300(A1)	
	1 : 600(A3)	

ローテーション図０（現況図）

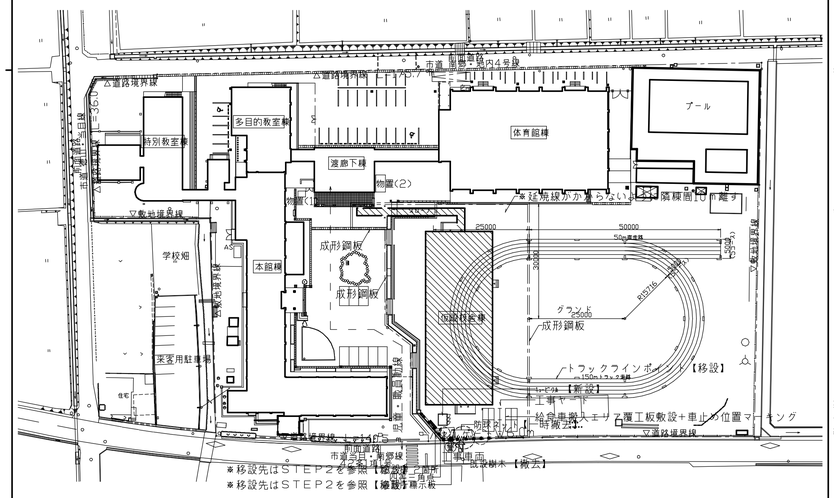


■参考工程表



ローテーション図１

（仮設校舎工事）
STEP1　R7.1～7



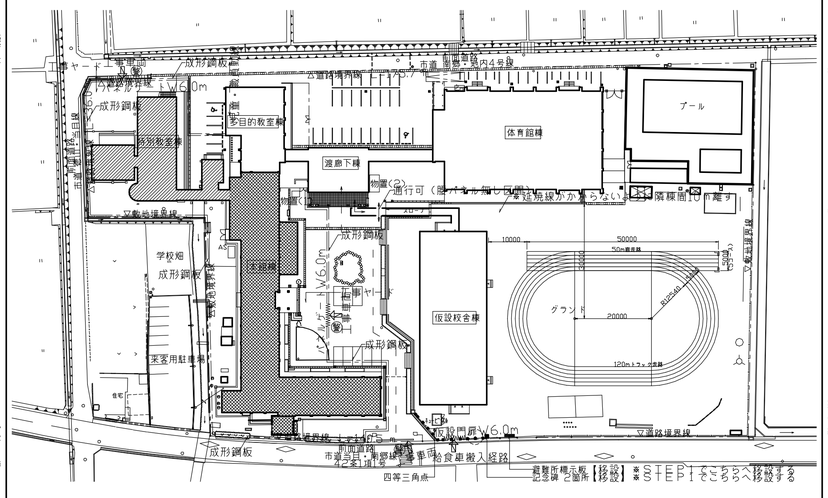
凡　例
工事車両進入口を示す
仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
パネルゲートW6.0mを示す
児童・職員動線を示す
交通整理員を示す

STEP1
R7.1～7
※仮設校舎建設工事
※校舎は通常使用

凡　例
新築仮設校舎リース工事を示す 【別途仮設校舎リース工事】

ローテーション図２

（長寿命化工事）
STEP2　R7.7～8.7



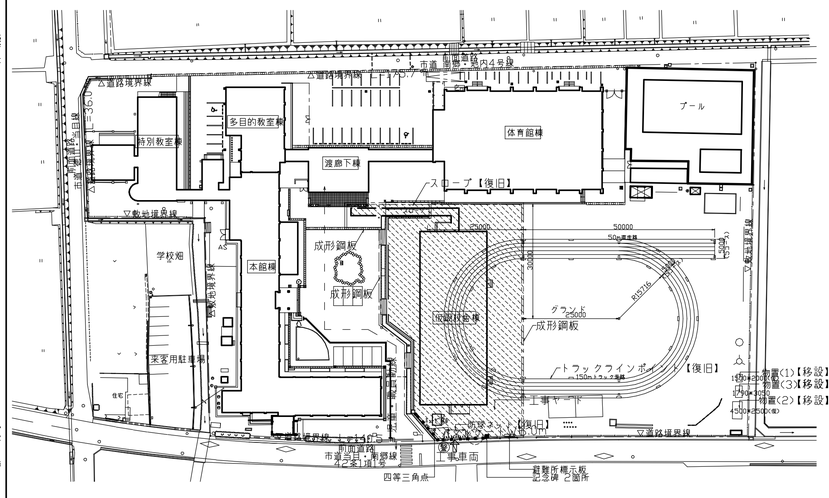
凡　例
工事車両進入口を示す
給食車両進入口を示す
仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
パネルゲートW6.0mを示す
仮設校門 W6.0mを示す
児童・職員動線を示す
交通整理員を示す

STEP2
R7.7～8.7
※仮設校舎使用
※校舎は改修工事

凡　例
本館棟の長寿命化改修工事の範囲を示す
特別教室棟の外壁等改修工事範囲を示す

ローテーション図３

（仮設解体復旧工事）
STEP3　R8.8～10



凡　例
工事車両進入口を示す
仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
パネルゲートW6.0mを示す
児童・職員動線を示す
交通整理員を示す

STEP3
R8.8～10
※仮設校舎解体撤去工事
※グラウンド整備復旧

凡　例
仮設校舎　撤去工事を示す グランド・外構復旧 【別途仮設校舎リース工事】

※仮設校舎範囲については、仮設校舎解体撤去後現状ライン引き・真砂土（購入土）復旧とする。
【別途仮設校舎リース工事】

訂正	月	日		月	日		月	日	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE	1：	M
工事ローテーション図		1：	No. 4/57
参考工程表		1：800(A1) 1：1600(A3)	

撤去　桝リスト

図面記号	寸　法	管　低	蓋	備　考
汚水桝				
A1	φ150	GL−580	φ150	塩ビ製小口径桝　レジコン蓋　通気口付　100−150−UTK
A2	φ150	GL−610	φ150	〃　〃　100−150−ST
A3	φ200	GL−620	φ200	〃　鋳鉄製防護ハット　T１４　100−200−90Y
A4	φ200	GL−690	φ200	〃　〃　100−200−90Y
A5	φ200	GL−690	φ200	〃　〃　100−200−90Y
A6	φ150	GL−510	φ150	〃　〃　100−150−90L
A7	φ150	GL−670	φ150	〃　〃　100−150−90L
A8	φ200	GL−710	φ200	〃　〃　100−200−90Y
A9	φ300	GL−870	φ300	〃　〃　通気口付　100−300−UTK
A10	φ200	GL−1460	φ200	〃　〃　100−200−90L
A11	φ200	GL−1530	φ200	〃　公桝　〃　既設のまま　150−200
B1	φ200	GL−660	φ200	塩ビ製小口径桝　レジコン蓋　通気口付　100−200−90L
B2	φ150	GL−560	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B3	φ200	GL−680	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B4	φ150	GL−600	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B5	φ200	GL−680	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B6	φ150	GL−590	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B7	φ200	GL−680	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B8	φ150	GL−360	φ150	〃　〃　100−150−90L
B9	φ150	GL−410	φ150	〃　〃　100−150−90Y
B10	φ150	GL−550	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B11	φ200	GL−930	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B12	φ150	GL−510	φ150	〃　〃　100−150−90Y
B13	φ150	GL−590	φ150	〃　〃　100−150−90L
B14	φ150	GL−800	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B15	φ200	GL−1180	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B16	φ200	GL−1310	φ200	〃　〃　100−200−ST
B17	φ200	GL−1330	φ200	〃　〃　100−200−45L
B18	φ200	GL−1350	φ200	〃　〃　100−200−45L
B19	600 × 600	GL−610	MHA−60	コンクリート桝　中耐圧防水防臭型マンホール　SC−3
B20	600 × 600	GL−620	MHA−60	〃　〃　〃
B21	600 × 600	GL−630	MHA−60	〃　〃　〃
B22	φ200	GL−700	φ200	塩ビ製小口径桝　レジコン蓋　100−200−DR
B23	φ200	GL−1370	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B24	φ150	GL−460	φ150	〃　〃　100−150−90L
B25	φ150	GL−580	φ150	〃　〃　100−150−90Y
B26	φ150	GL−410	φ150	〃　〃　100−150−90L
B27	φ150	GL−640	φ150	〃　〃　100−150−90WY
B28	φ150	GL−660	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B29	φ150	GL−760	φ150	〃　〃　100−150−DR
B30	φ200	GL−1220	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B31	φ200	GL−1500	φ200	〃　公桝　鋳鉄製防護ハット　T１４　既設のまま　150−200
				下水道課指定品桝
				管底は参考とし現場調査及び下水道課と協議の上、完全に施工する事。

新設　桝リスト

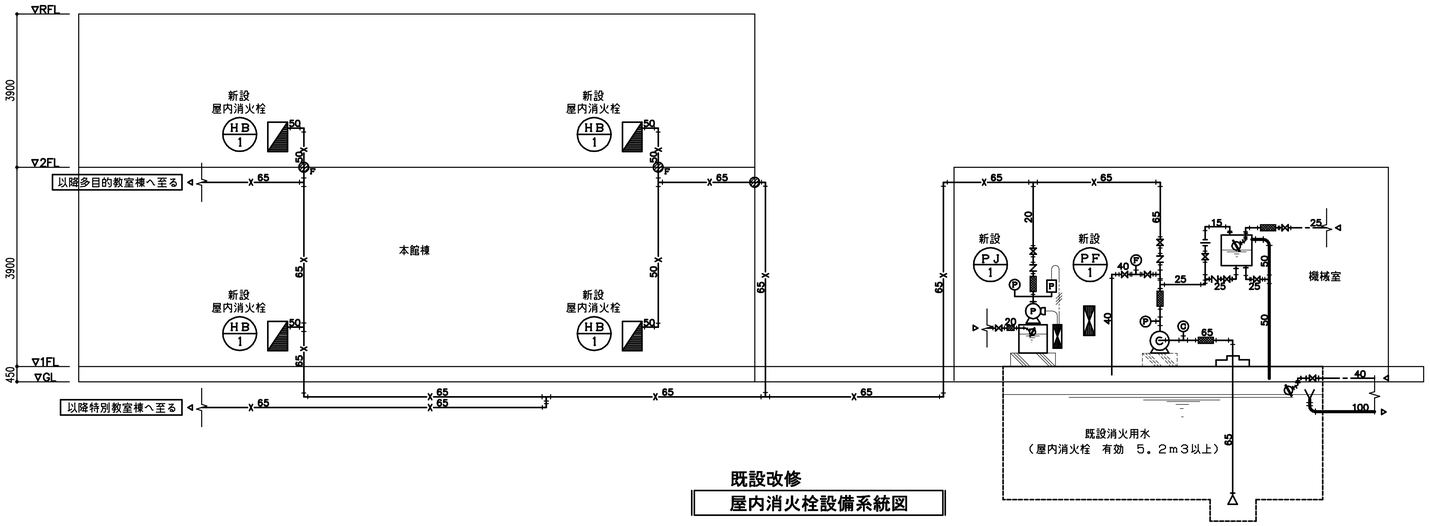
図面記号	寸　法	管　低	蓋	備　考
汚水桝				
A1	φ150	GL−580	φ150	塩ビ製小口径桝　レジコン蓋　通気口付　100−150−UTK
A2	φ150	GL−610	φ150	〃　〃　100−150−ST
A3	φ200	GL−670	φ200	〃　鋳鉄製防護ハットT14　通気口付　100−200−UT
A4	φ200	GL−750	φ200	〃　〃　通気口付　100−200−UT
A5	φ200	GL−810	φ200	〃　〃　通気口付　100−200−UT
A6	φ150	GL−510	φ150	〃　〃　100−150−90L
A7	φ150	GL−670	φ150	〃　〃　100−150−90L
A8	φ200	GL−890	φ200	〃　〃　100−200−90Y
A9	φ200	GL−970	φ200	〃　〃　100−200−DR
A10	φ200	GL−1450	φ200	〃　〃　100−200−90L
A11	φ200	GL−1530	φ200	〃　公桝　〃　既設のまま　150−200
B1	φ200	GL−660	φ200	塩ビ製小口径桝　鋳鉄製防護ハットT14　100−200−90L
B2	φ150	GL−560	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B3	φ200	GL−695	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B4	φ150	GL−600	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B5	φ200	GL−705	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B6	φ150	GL−590	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B7	φ200	GL−715	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B8	φ150	GL−360	φ150	〃　レジコン蓋　通気口付　100−150−UTK
B9	φ150	GL−420	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UT
B10	φ150	GL−440	φ150	〃　〃　100−150−DR
B11	φ200	GL−865	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B12	φ150	GL−510	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B13	φ150	GL−590	φ150	〃　〃　100−150−90L
B14	φ150	GL−670	φ150	〃　〃　100−150−DR
B15	φ200	GL−1035	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B16	φ200	GL−1205	φ200	〃　〃　100−200−ST
B17	φ200	GL−1315	φ200	〃　〃　100−200−45L
B18	φ200	GL−1340	φ200	〃　〃　100−200−45L
B19	φ200	GL−1360	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B20	φ200	GL−1380	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B21	φ150	GL−460	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B22	φ150	GL−580	φ150	〃　〃　100−150−90Y
B23	φ150	GL−410	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UTK
B24	φ150	GL−640	φ150	〃　〃　通気口付　100−150−UT
B25	φ150	GL−660	φ150	〃　〃　100−150−90L
B26	φ150	GL−790	φ150	〃　〃　100−150−DR
B27	φ200	GL−1470	φ200	〃　〃　100−200−90Y
B28	φ200	GL−1500	φ200	〃　公桝　鋳鉄製防護ハットT14　既設のまま　150−200
				下水道課指定品桝
				管底は参考とし現場調査及び下水道課と協議の上、完全に施工する事。

撤去 機器リスト

図面記号	名　称	仕　様	数量	備　考
GT−1	グリーストラップ	型式　FRP製パイプ導入埋設型	1	撤去
		容量　約 75　ℓ		
		寸法　450W x 650L x −−H		
		３槽式、鋼板製縞鋼板蓋共		
		コンクリート補強工事共（厚：120）		

新設 機器リスト

図面記号	名　称		数量	備　考
GT−1	グリーストラップ	型式　SUS製パイプ導入埋設型	1	HGS−NX70PD
		許容流入流量　70　ℓ/min		ホーコス（同等品）
		許容租集グリース量　23.2　Kg		新設
		容量　67　ℓ		
		寸法　400W x 600L x 550H		
		３槽式、SUS製縞鋼板蓋共		
		コンクリート補強工事共（厚：120）		
		（配筋仕様：Ｄ１０@２００タテヨコ,シングル）		



特記事項（既設改修）

1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、破線は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
8）不要の配管は、改修工事が完了後速やかに、閉栓及び撤去する事。
9）本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11）凡例
- ▲DC　はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
- 防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
- 既設配管の接続ヶ所を示す。
- 満水継手

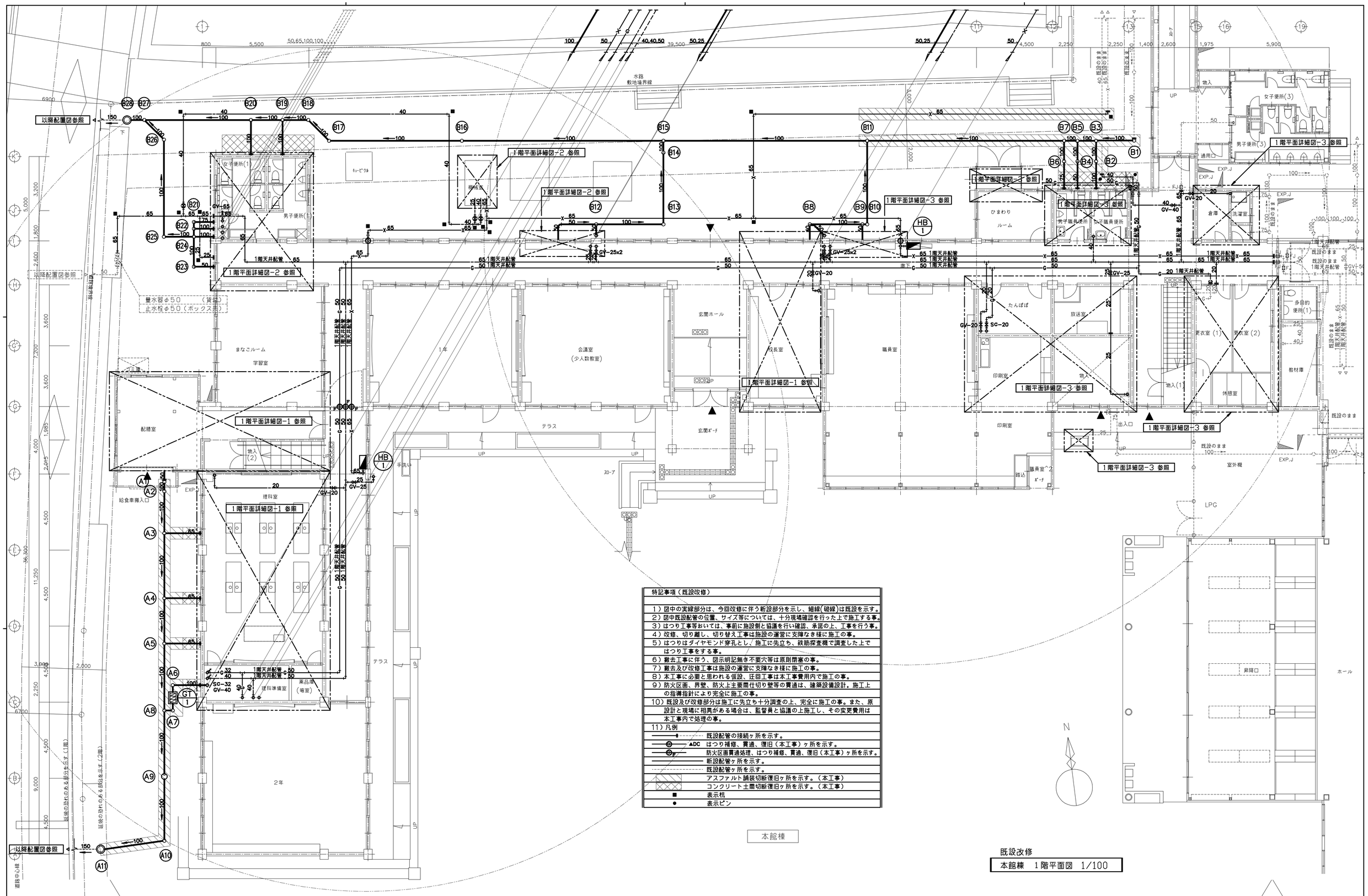
既設改修
屋内消火栓設備系統図

撤去　機器リスト　浅井小学校

図面記号	名　称	仕　様	電気容量	数量	備　考
PF−1	消　火　ポ　ン　プ	型式　屋内消火栓１号用吸込型（認定品）	3φ　200V　5.5　KW	1	エバラ
		口径　φ50　mm　水量　300　ℓ／min　揚程　−　mAq	直入方式		呼び水槽：FC−100　ホーコス
		制御盤（消火水槽、呼び水槽、消火用充水槽満減水警報用無電圧端子付）共、呼び水槽100L、水温上昇防止逃がし配管、性能試験装置、凍結防止ヒーター共			撤去
		コンクリート基礎　既設のまま：流用			
HB−1	屋内消火栓格納箱	型式　屋内露出横型（１号消火栓）		4	HB−2B
		寸法　1050W x 800H x 180D　バルブ（消火栓）　40A x 90°　− 1個			撤去
		ノズル　40A x φ9 − 1個　ホース掛　40A用　ホース　40A x 15m − 2本			
		ボンデ鋼板、メラミン樹脂塗装焼き付け			
		消火管エルボ保温材（アスベスト含有）：9箇所　法令に基づき適正に処分すること。			
		注記：数量及び台数については、平面図より拾い出す事。			

新設　機器リスト　浅井小学校

図面記号	名　称	仕　様	電気容量	数量	備　考
PF−1	消　火　ポ　ン　プ	型式　屋内消火栓１号用ポンプユニット吸込型（認定品）　国土交通省仕様	3φ　200V　7.5　KW	1	50x40KTK506C7.5　川本（同等品）
		口径　φ50　mm　水量　300　ℓ／min　揚程　82　mAq	直入方式		新設
		制御盤（消火水槽、呼び水槽、消火用充水槽満減水警報用無電圧端子付）共、呼び水槽、水温上昇防止逃がし配管、性能試験装置、凍結防止ヒーター共			
		コンクリート基礎　既設のまま：流用			
PJ−1	補助加圧ポンプユニット	型式　補助加圧ポンプユニット（屋内消火栓１号用）（認定品）	3φ　200V　1.5　KW	1	DPK2−15E10K　川本（同等品）
		口径　φ15　mm　水量　20　ℓ／min　揚程　82　mAq	直入方式		新設
		制御盤（水槽満減水警報用、圧力低下、無電圧端子付）共、水槽50L、圧力スイッチ、凍結防止ヒーター共			
		コンクリート基礎　150H　本工事　（基礎配筋仕様：D10@200タテ、ヨコ、シングル）			
HB−1	屋内消火栓格納箱	型式　屋内露出横型（ホースリール式）易操作性タイプ　国土交通省仕様		4	HB−2B
		寸法　750H x 1050W x 200D　バルブ　32A x 90 − 1個　減圧弁　32A　− 1個			新設
		噴霧切替ノズル　32A x φ8（開閉装置付）− 1個　ホース　32A x 30m − 1本			
		キャビネット　鋼板製1.6t　メラミン樹脂焼付 − 1 式　圧力損失　ホース（30m）＋ノズル　＝24mAq			
		注記：数量及び台数については、平面図より拾い出す事。			



特記事項（既設改修）
1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線(破線)は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8）本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
9）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11）凡例
既設配管の接続ヶ所を示す。
▲DC はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
新設配管ヶ所を示す。
既設配管ヶ所を示す。
アスファルト舗装切断復旧ヶ所を示す。（本工事）
コンクリート土間切断復旧ヶ所を示す。（本工事）
■ 表示杭
● 表示ピン

既設改修

本館棟　1階平面図　1/100

訂正	月	日		月	日		月	日	
	・			・			・		
	・			・			・		
	・			・			・		

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

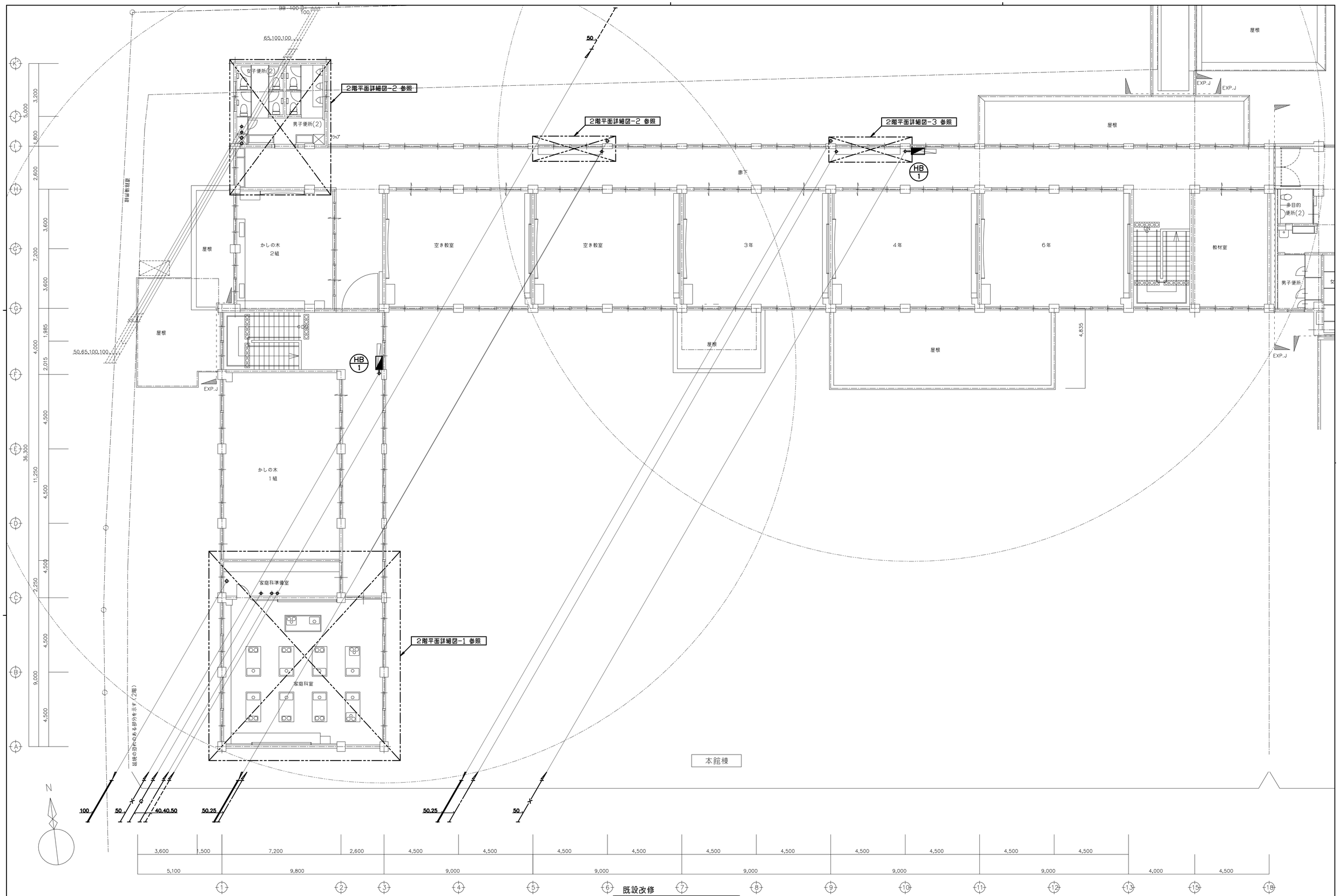
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No.

工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

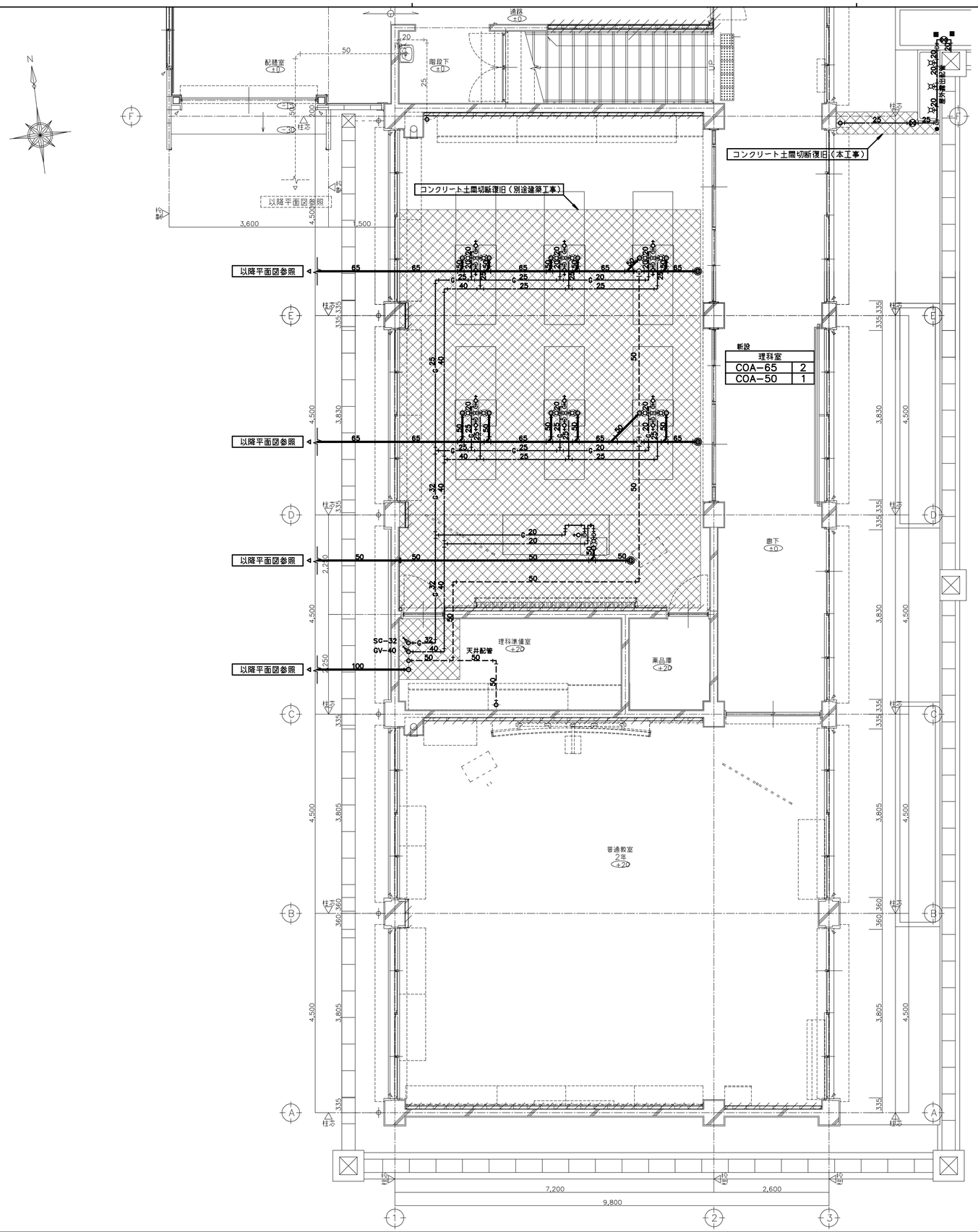
機械設備工事	SCALE	1 :	M
衛生設備図		1 :	No. 7/57
既設改修　1階平面図		1 : 100 (A1)	
		1 : 200 (A3)	



既設改修

本館棟　2階平面図 1/100

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備） DATE . . :
機械設備工事	SCALE 1：	M	
衛生設備図	1：	No. 8/57	
既設改修　2階平面図	1：100(A1) 1：200(A3)		



新設　衛生器具リスト

品名	品番	本館棟 屋外 地流し	屋外	1階 洗濯室	1階 理科室	1階 廊下手洗	1階	2階 家庭科室	2階 家庭科準備室	2階 廊下手洗	合計	備考
洗濯機パン	PWSP80J2W			1							1	衛生器具附属品リスト参照
パン用横水栓	TW11R			1							1	衛生器具附属品リスト参照
万能ホーム水栓	T200SNR13	8									8	衛生器具附属品リスト参照
立水栓	建築工事					16				16	32	衛生器具附属品リスト参照 建築工事（配管接続及びフレキは本工事）
ヒューズコック	156−558				13						13	衛生器具附属品リスト参照
ヒューズコック	156−366							3			3	衛生器具附属品リスト参照
湯沸器	50号先止め式（給湯専用）								1		1	衛生器具附属品リスト参照

新設　衛生器具附属品リスト

品名	品番	附属品
洗濯機パン	PWSP80J2W	縦引き排水トラップ、800W×640D×60H、その他附属品共
パン用横水栓	TW11R	緊急止水弁付横水栓（逆止弁、ワンタッチ付き）
万能ホーム水栓	T200SNR13	壁付けタイプ
立水栓	建築工事	シングルレバー単水栓（デッキタイプ）泡沫式
ヒューズコック	156−558	2口、φ9．5（コンセント、水切タイプ）、過流出安全機構付き
ヒューズコック	156−366	2口、φ9．5（コンセント＋ホースエンド、壁付タイプ）、過流出安全機構付き
湯沸器	50号先止め式（給湯専用）	GQ−5021WZD−F（ﾉｰﾂﾘ：2022）、ガス消費量108KW（7.55Kg／H）、屋内壁掛型、リモコン付、FE管、断熱材、排気トップ、その他付属品1式（既設脱着）

特記事項（既設改修）

1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線(破線)は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8）本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
9）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計．施工上の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11）凡例
- 既設配管の接続ヶ所を示す。
- ▲DC はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
- 新設配管ヶ所を示す。
- 既設配管ヶ所を示す。
- ■ 表示机
- ● 表示ピン

凡例

コンクリート土間切断復旧ヶ所を示す。（建築工事）

既設改修

本館棟　1階平面詳細図－1　1/50

訂正	月 日	月 日	月 日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

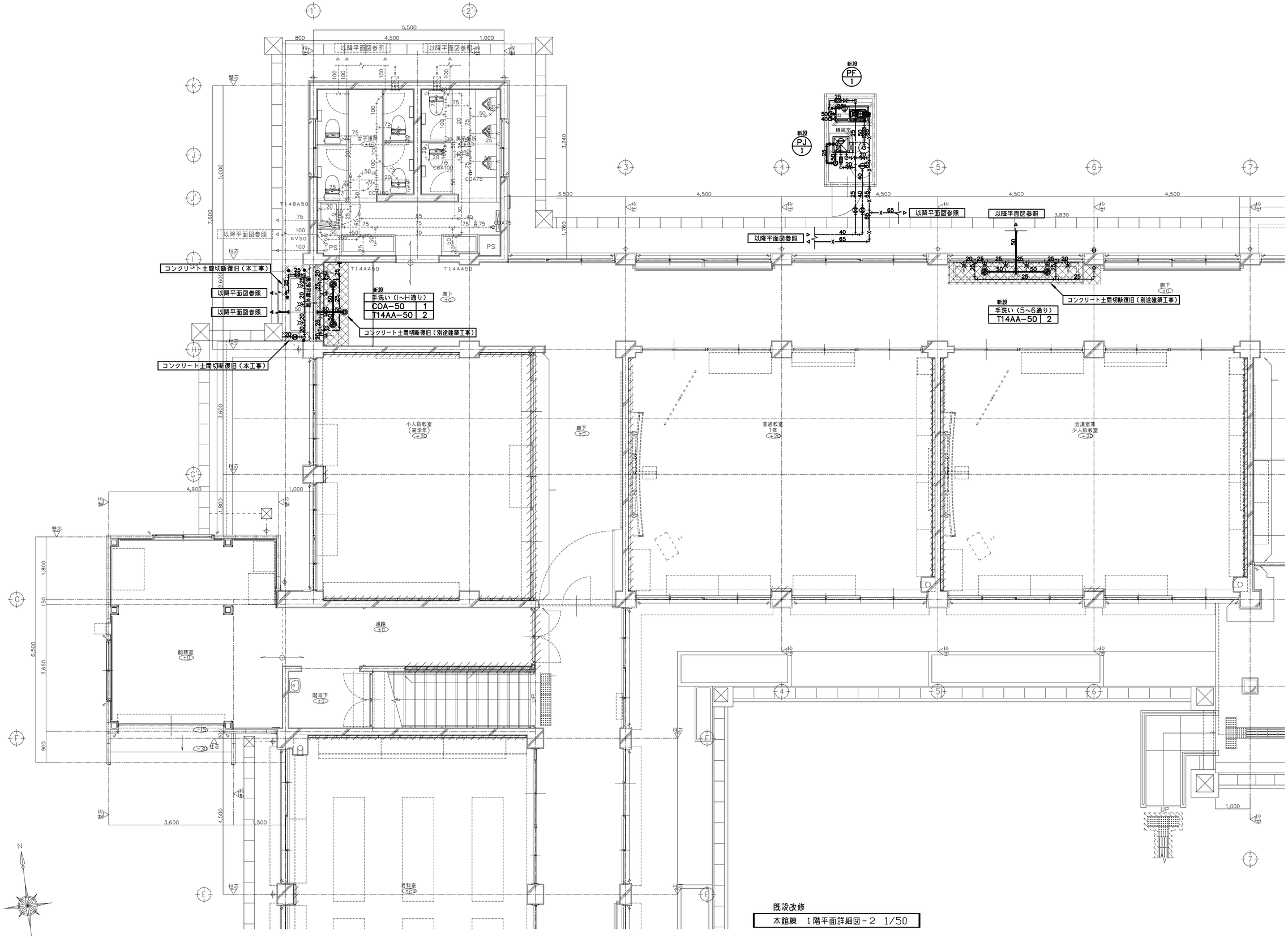
建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No.

工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1：	M
衛生設備図	1：	No. 9／57
既設改修　1階平面詳細図－1	1：50(A1)	
	1：100(A3)	



既設改修

本館棟　1階平面詳細図－2　1/50

訂正	月 日	月 日	月 日

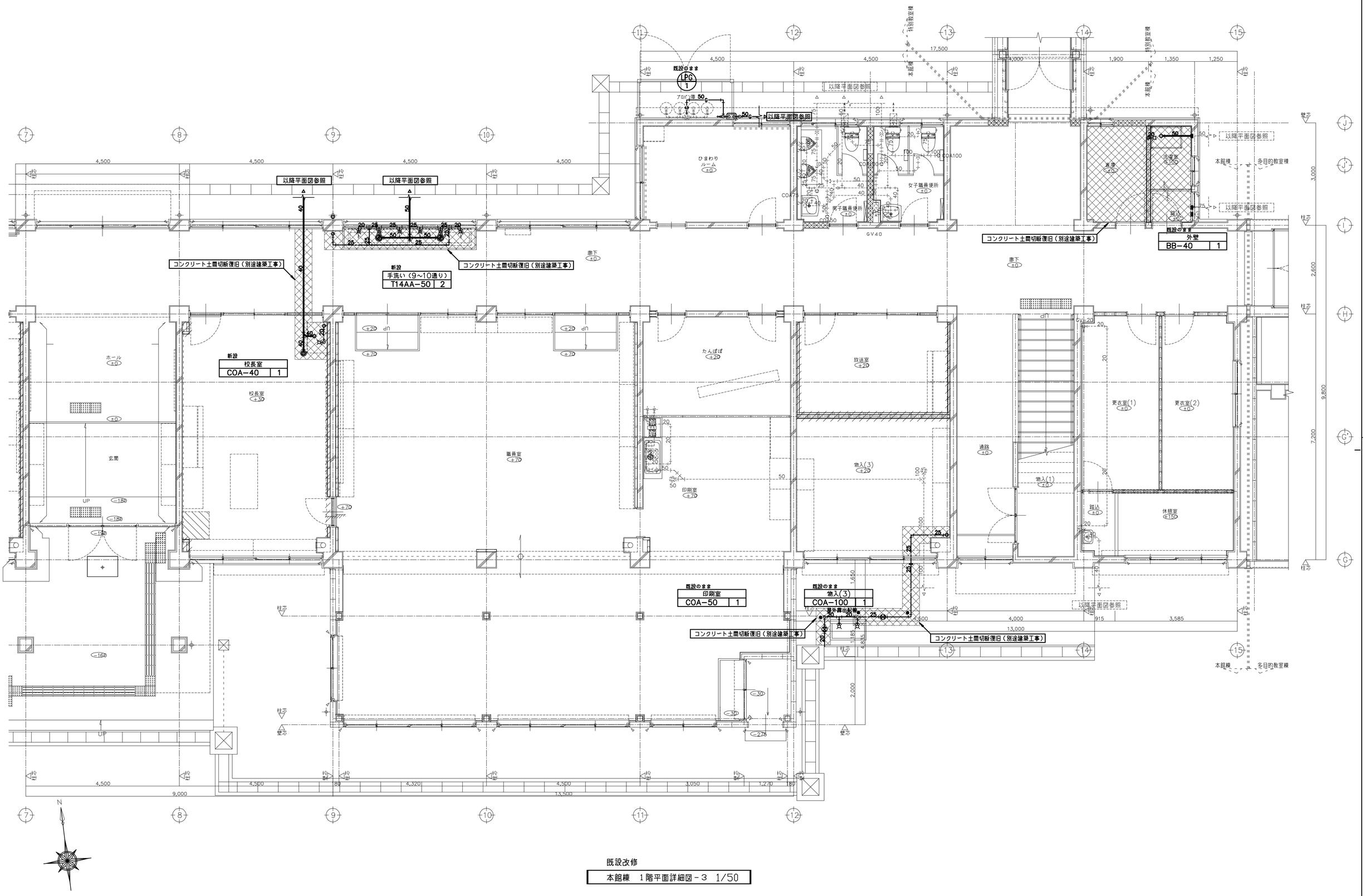
建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

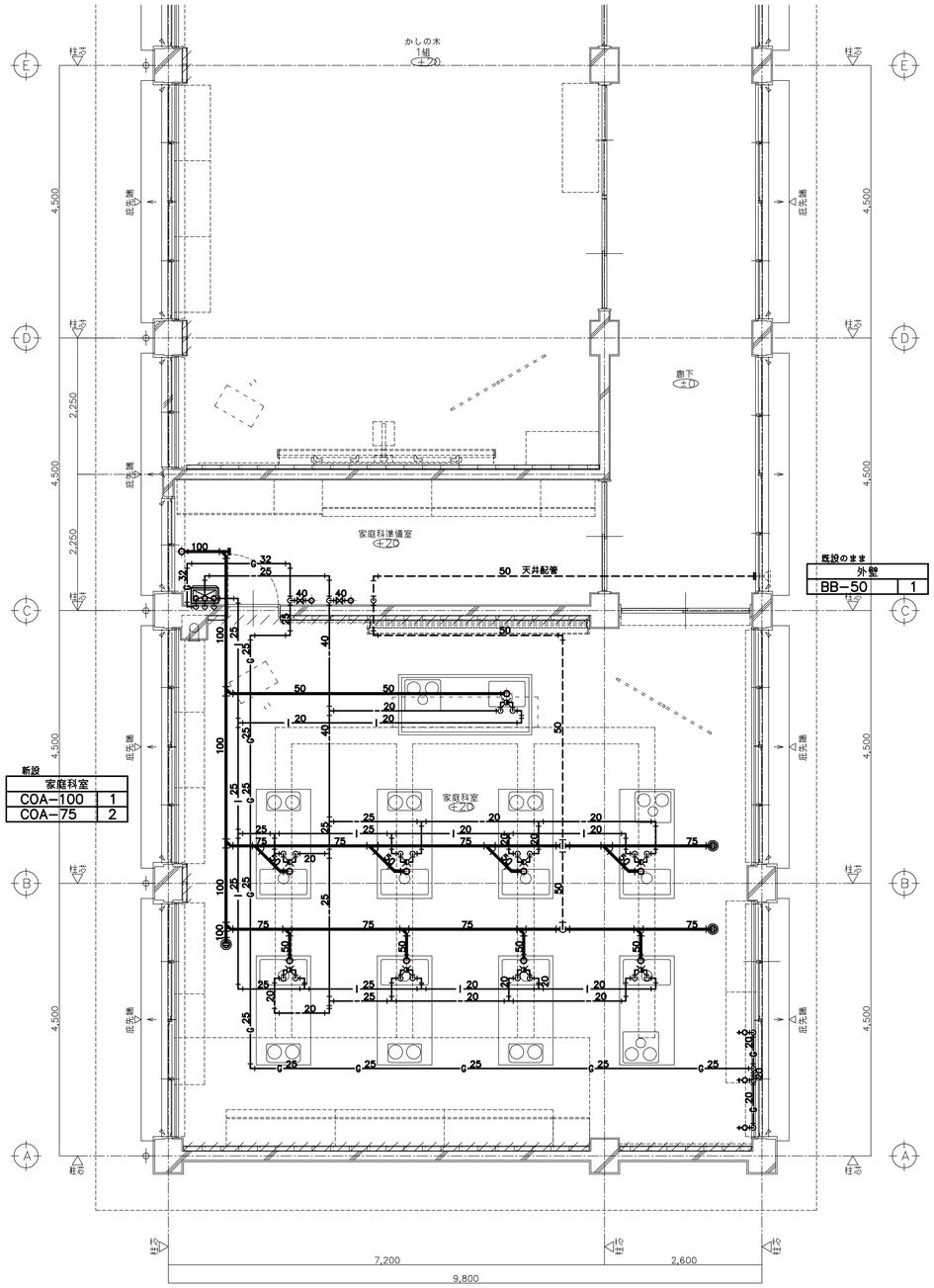
機械設備工事	SCALE 1：	M
衛生設備図	1：	No. 10/57
既設改修　1階平面詳細図－2	1：50(A1)	
	1：100(A3)	



既設改修

本館棟　1階平面詳細図－3　1/50

訂正	月 日		月 日		月 日		建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備） DATE . . .	機械設備工事	SCALE 1：	M
	・		・		・						衛生設備図	1：	No. 11/57
	・		・		・						既設改修　1階平面詳細図－3	1：50(A1)	
	・		・		・							1：100(A3)	



既設改修

本館棟　2階平面詳細図－1　1/50

訂正	月	日		月	日		月	日	
	・			・			・		
	・			・			・		
	・			・			・		

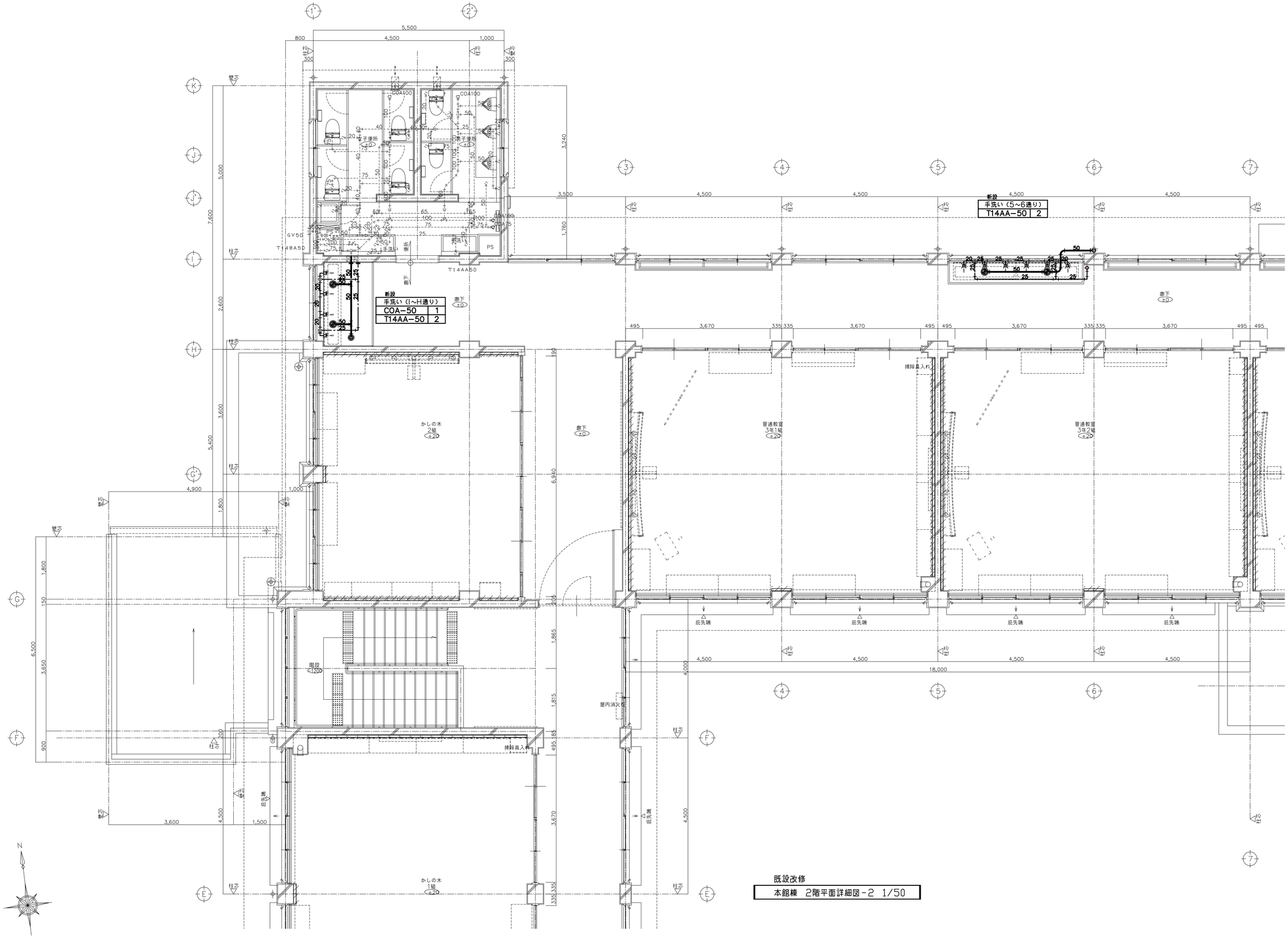
建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

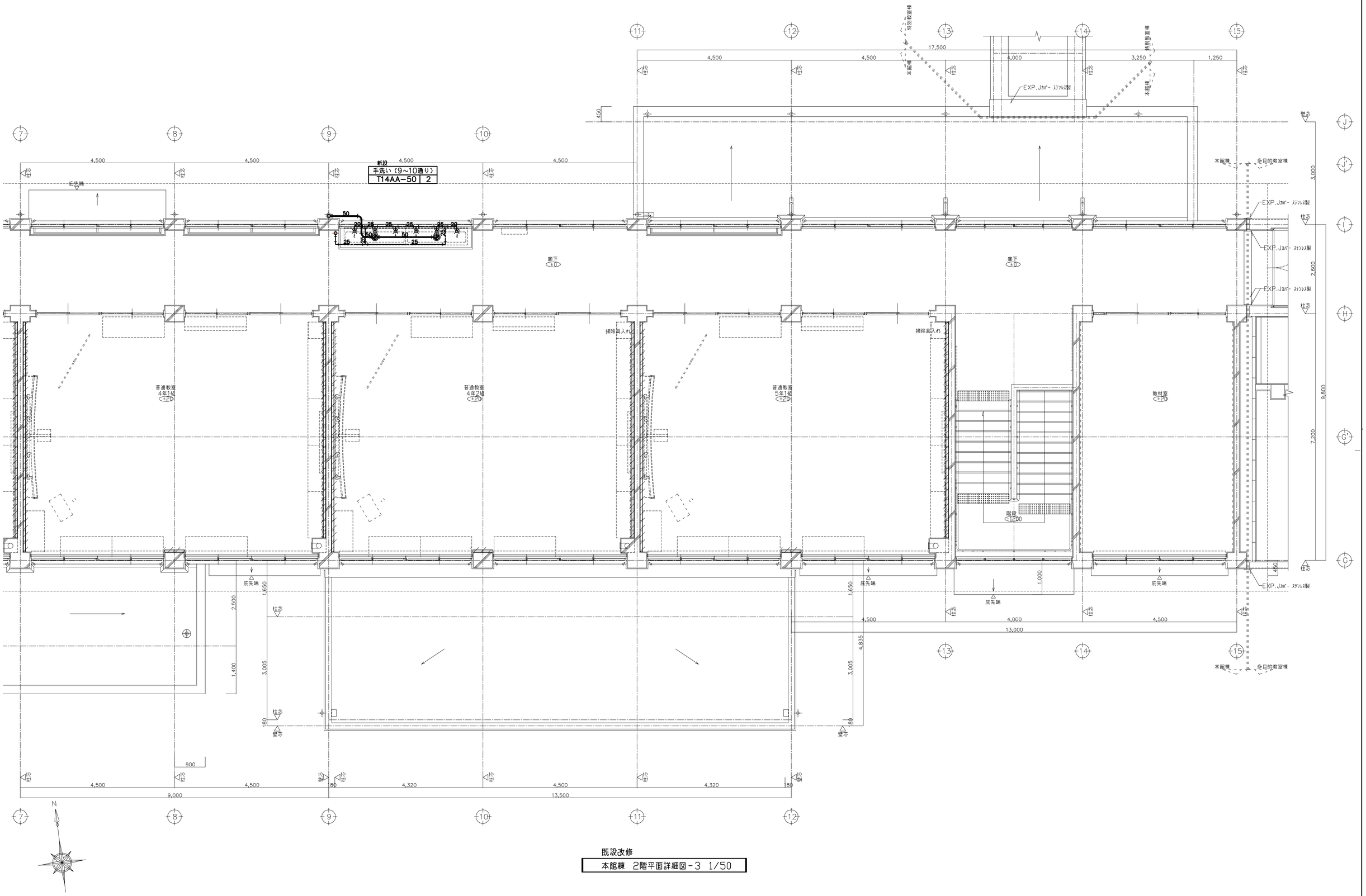
機械設備工事	SCALE	1：	M
衛生設備図		1：	No. 12/57
既設改修　2階平面詳細図－1		1：50(A1)	
		1：100(A3)	



既設改修

本館棟　2階平面詳細図−2　1/50

訂正	月 日		月 日		月 日		建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.				工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備） DATE . . :	機械設備工事	SCALE 1：	M
	•		•		•									衛生設備図	1：	No. 13/57
	•		•		•									既設改修　2階平面詳細図−2	1：50(A1) 1：100(A3)	



既設改修

本館棟　2階平面詳細図－3　1/50

訂正	月	日		月	日		月	日	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

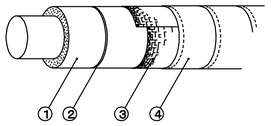
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE	1：	M
衛生設備図		1：	No. 14/57
既設改修　2階平面詳細図－3		1：50(A1)	
		1：100(A3)	

保温施工標準図　No. 1

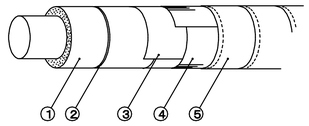
屋内露出（一般居室・廊下）

給水・排水（通気）　空調ドレン管



	材料名	規格	備考
1	グラスウール保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５０４	４０Ｋ以上
2	鉄線	ＪＩＳ Ｇ ３５４７	
3	合成樹脂製カバー		板厚 ０．３mm以上

給湯・温水（膨張管含む）・蒸気・冷水・冷温水



	材料名	規格	備考
1	グラスウール保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５０４	４０Ｋ以上
2	鉄線	ＪＩＳ Ｇ ３５４７	
3	ポリエチレンフィルム	ＪＩＳ Ｚ １７０２	厚さ ０．０５mm
4	合成樹脂製カバー		着さ ０．３mm以上

※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。

保温材の厚さ

単位：mm

呼び径		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分	
Ⅰ	R	20									25			40		ロックウール	給水管
	G	20									25			40		グラスウール	排水管
	P	20									25					ポリスチレンフォーム	
Ⅱ	R	20									25			40		ロックウール	温水管
	G	20									25			40		グラスウール	給湯管
Ⅲ	R	25			30			40								ロックウール	蒸気管
	G	25			30			40								グラスウール	
Ⅳ	R	30				40									50	ロックウール	冷温水管
	G	30				40									50	グラスウール	冷水管
	P	30				40									50	ポリスチレンフォーム	冷媒管
Ⅴ		25														機器、排気筒、煙道、内貼	
Ⅵ		50															
Ⅶ		75															
Ⅷ		50または25														ダクト	

詳細は標準仕様書による。なお、高圧（0.1MP以上）の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温は、特記による。

防火区画貫通箇所施工要領

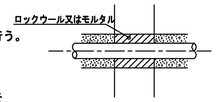
《 給排水管 》

1、鋼管の場合

※ 管径に関係なく通常の保温工事でよい。

※ 区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。

鋼　管



2、ＶＰの場合

【最上階４階まで　１時間耐火】

※ １２５mm以上は鋼管または大臣認定の耐火二層管を使用する。

※ １００mmには０．５t亜鉛鉄板を前後１m巻くこと。

・保温は保温材がポリスチレンフォーム保温筒の場合はロックウール保温帯２５tを鉄線にて取り付ける。

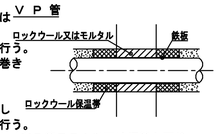
・区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。

・鉄板は区画貫通箇所を通して、前後１m管材の上に巻きその上に保温を行う。

※ ７５mm以下は鉄板巻き不要である。

・保温材はポリスチレンフォーム保温筒でよい、ただし貫通箇所はロックウール保温材又はモルタル詰めを行う。

ＶＰ管



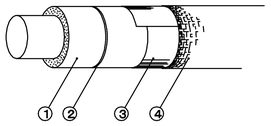
【５階～最上階１４階まで　２時間耐火】

※ 上記１時間耐火の管径より１ランク下げた管径を代入する。

ＶＰ管７５Ａ以下は鋼管と同じ貫通部分にポリスチレンフォーム保温筒又はグラスウール保温筒を使用してはいけない。

機械室・書庫・倉庫（厨房の天井内を含む）天井内・ＰＳ内・空隙壁中

給水・排水（通気）　空調ドレン管

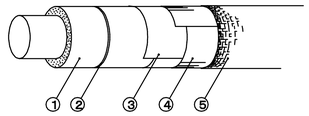


	材料名	規格	備考
1	グラスウール保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５０４	４０Ｋ
2	鉄線	ＪＩＳ Ｇ ３５４７	
3	原紙		1m2 ３７０g以上
4	アルミガラスクロス	ＪＩＳ Ｒ ３４１４ EP18A	

※ 原紙＋アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧原紙を使用できる

※ 天井、ＰＳ内の場合は原紙を省略し、ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧ｶﾞﾗｽｳｰﾙ保温筒＋ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ(幅50mm)とする。

給湯・温水（膨張管含む）・蒸気・冷水・冷温水



	材料名	規格	備考
1	グラスウール保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５０４	４０Ｋ
2	鉄線	ＪＩＳ Ｇ ３５４７	線径 ０．６mm
3	ポリエチレンフィルム	ＪＩＳ Ｚ １７０２	厚さ ０．０５mm
4	原紙		1m2 ３７０g以上
5	アルミガラスクロス	ＪＩＳ Ｒ ３４１４ EP18A	

※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。

※ 原紙＋アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧原紙を使用できる

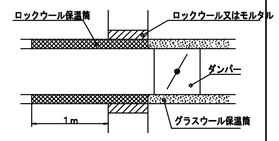
※ 天井、ＰＳ内の場合は原紙を省略する。

※ 給湯・温水、蒸気配管の天井、ＰＳ内はアルミガラス化粧グラスウール保温筒＋アルミガラスクロス粘着テープとする。

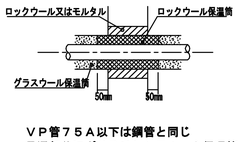
共通事項

1. ポリスチレンフォーム保温筒は、１本（1m）につき２箇所以上粘着テープ２回巻きとする。
2. テープ巻きその他の重なり幅は、原則として、テープ状の場合は１５mm以上（ポリエチレンフィルムの場合は１／２重ね以上）、その他の場合は３０mm以上とする。
3. テープ巻きは、配管の下方より上向きに巻き上げる。アルミガラスクロス巻き等で、ずれるおそれのある場合には、粘着テープ等を用いてずれ止めを行う。
4. 合成樹脂製カバーの取付は、直管の合わせ幅は２５mm以上とし、合わせ目を両面テープで貼り合わせた後、１５０mm以下のピッチで、合成樹脂製カバー用ピンで押さえる。
5. 屋内露出配管の保温見切り部分には菊座を取付ける。
6. 保温筒取り付けの鉄線巻きは１本（1m）につき２箇所２回巻きとする。
7. 鉄板巻きの継目部にはシールを行う。
8. グラスウール保温筒、保温板の使用困難な場所は、保温帯または波形保温板を使用してもよい。
9. ポリスチレンフォーム保温筒の使用困難な箇所は、ロックウール保温帯、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は波形保温板を使用してもよい。
10. 屋内露出の配管及びダクトの床貫通部は、その保温材保護のため、床面より少なくとも高さ１５０mmまでステンレス鋼板で被覆する。
11. 通気管の保温は排水分岐より１００mmのみ保温を行う。

《 ダ ク ト 》



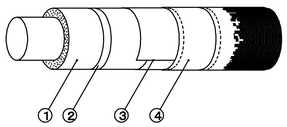
《 冷水、冷温水管 》



ＶＰ管７５Ａ以下は鋼管と同じ貫通部分にポリスチレンフォーム保温筒又はグラスウール保温筒を使用してはいけない。

床下・暗渠内（ピット内含む）

給水・排水（通気）　空調ドレン管

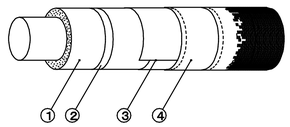


	材料名	規格	備考
1	ポリスチレンフォーム保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５１１	３号
2	粘着ビニールテープ	ＪＩＳ Ｚ １５２５	厚さ ０．２mm
3	ポリエチレンフィルム	ＪＩＳ Ｚ １７０２	厚さ ０．０５mm
4	着色アルミガラスクロス		黒色

※ 共同溝の保温の種別は特記による。

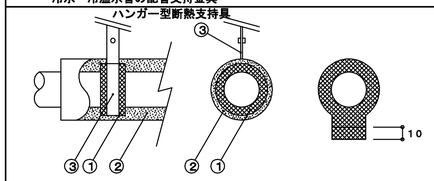
※ 排水管、空調ドレン管で暗渠内（ピット内を含む）、最下階の床下配管及び耐火二層管は保温を行わない。

給湯・温水（膨張管含む）・蒸気・冷水・冷温水



	材料名	規格	備考
1	グラスウール保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５０４	４０Ｋ
2	鉄線	ＪＩＳ Ｚ ３５４７	
3	ポリエチレンフィルム	ＪＩＳ Ｚ １７０２	厚さ ０．０５mm
4	着色アルミガラスクロス		黒色

冷水・冷温水管の配管支持金具



① 断熱支持具

② グラスウール保温筒

③ バンド

※ 台型断熱材の厚さはハンガー型と同じとする。

※ 台型の場合は既製品（既製品＋１０mm）を使用する。

※ ハンガー型は蝶番式又は提灯型を使用する。

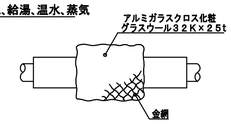
断熱支持具の厚さ（Ｔ）と長さ（Ｌ）

A	T	L
15A～ 25A	20	50
32A～150A	30	50
200A	30	100
250A～300A	40	100

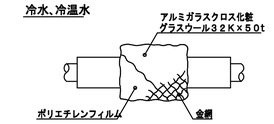
単位：mm

弁フランジなどの保温

給水、給湯、温水、蒸気



冷水、冷温水



※ 給湯、温水、蒸気配管で室内及び暗渠内の伸縮継手、防震継手、フレキシブルジョイント、弁及びフランジは保温を行わない。

※ 蒸気、温水配管で室内及び暗渠内の各種装置廻りの配管は保温を行わない、ただし火傷の可能性がある場合は火傷防止をおこなう。

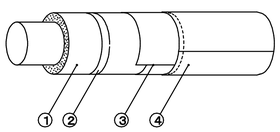
※ 屋外は金網の下にポリエチレンフィルム を巻く。

※ 給水、給湯、冷水、冷温水用の露出配管で、保温を行う６５Ａ以上の弁、ストレーナー等はビスなどにより容易に脱着できうる金属製カバーによる外装を施す。

（室内外共：カラー亜鉛鉄板またはステンレス鋼板）

浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）屋外露出（バルコニー・開放廊下を含む）

給水・排水（通気）　空調ドレン管

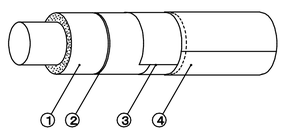


	材料名	規格	備考
1	ポリスチレンフォーム保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５１１	３号
2	粘着テープ	ＪＩＳ Ｚ １５２５	厚さ ０．２mm以上
3	ポリエチレンフィルム	ＪＩＳ Ｚ １７０２	厚さ ０．０５mm
4	カラー亜鉛鉄板	ＪＩＳ Ｇ ３３１２	
	またはステンレス鋼板	ＪＩＳ Ｇ ４３０５	

※ 厨房、浴室等の多湿箇所はステンレス鋼板とする。

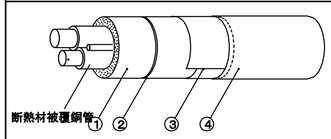
※ 排水管、空調ドレン管で屋外露出及び耐火二層管は保温を行わない。

給湯・温水（膨張管含む）・蒸気・冷水・冷温水



	材料名	規格	備考
1	グラスウール保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５０４	４０Ｋ
2	鉄線	ＪＩＳ Ｇ ３５４７	
3	ポリエチレンフィルム	ＪＩＳ Ｚ １７０２	厚さ ０．０５mm
4	カラー亜鉛鉄板	ＪＩＳ Ｇ ３３１２	
	またはステンレス鋼板	ＪＩＳ Ｇ ４３０５	

冷媒配管（全ての施工場所）



	材料名	規格	備考
1	グラスウール保温筒	ＪＩＳ Ａ ９５０４	４０Ｋ 20mm厚　無し
2	鉄線	ＪＩＳ Ｇ ３５３２	
3	ポリエチレンフィルム	ＪＩＳ Ｚ １７０２	厚さ ０．０５mm
4	外装材は屋外露出配管：ＳＵＳ板巻き、屋内露出配管：カラー鉄板巻きとする。		

※ ただし、天井内、ＰＳ内、空隙壁内、床下は上記に変えて断熱材被覆銅管（保温厚20mm）とする。

※ 保温付ドレン管（ACドレン管）使用の場合はラッキングに共巻きとする。

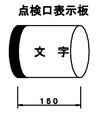
配管行先表示板

室内、ＰＳ内、点検口部分の配管には配管表示板を取り付ける。

この表示板にはには、流体名称、矢印、色別バンド書き込む。

パイプシャフト表示板

点検口表示板



配管表示色

管種	色	管種	色
給水管	青	温水管	ﾚﾝｶﾞ色
排水管	青　2本	冷温水管	濃青,ﾚﾝｶﾞ色
井水管	青　3本	蒸気管	暗い赤
雑排水管	茶	冷却水管	淡水色
汚水管	茶　2本	膨張管	ﾚﾝｶﾞ色 2本
通気管	茶の破線	油管	黄
消火管	赤	空気管	白
ガス管	緑	給湯管	肌色
冷水管	濃青色	冷媒管	緑　2本

※ 表示板の材質は塩化ビニール樹脂製とする。

※ 屋内外露出の配管名表示部分には、縦書きの場合は下部、横書きの場合は左側に色別バンドを取り付ける。

※ 特記以外はこの施工標準図による。

※ 設計図書に明記の無い場合又は疑いが生じた場合は監督員と協議する。

※ 現場の収まり、取り合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合は監督員と協議する。

※ 詳細は国土交通省機械設備工事標準仕様書及び同施工監理指針に基づく。

訂正	月 日	月 日	月 日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名：浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1：	M
衛生設備図	1：	No. 15/57
保温施工標準図　No. 1	1：	
	1：	

新設、既設
空調機器表

記号	名称	仕様／形式	電源	消費電力(定格)	数量	備考
GHP S1	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室外機 【本館棟1階系統】	形　式：ハイパワーにこマルチ：新設用/一般地向機種	単相 200V		1組	YWZP560L1DB+YWZP710L1DB 新設
		20カ相当+25馬力相当　超小電力型GHP				
		【YWZP560L1D】　冷媒種類　R410A		冷房 1.26KW 暖房 0.568KW		
		能　力：冷房（定格）　56.0kw				
		能　力：暖房（定格）　63.0kw				
		ガス種：LPG　燃料消費量　冷房（定格）41.9kw				
		燃料消費量　暖房（定格）39.7kw				
		配管関係　冷媒　φ15.9/φ28.6				
		燃料ガス管　R3/4				
		付属品　分岐管・防雪ネット				
		既設基礎流用、あと施工アンカー（引張り試験共）、防振ゴム、転倒防止措置共				
		【YWZP710L1DB】　冷媒種類　R410A		冷房 1.76KW 暖房 1.32KW		
		能　力：冷房（定格）　71.0kw				
		能　力：暖房（定格）　80.0kw				
		ガス種：LPG　燃料消費量　冷房（定格）53.6kw				
		燃料消費量　暖房（定格）52.0kw				
		配管関係　冷媒　φ19.1/φ31.8				
		燃料ガス管　R3/4				
		付属品　分岐管・防雪ネット				
		既設基礎流用、あと施工アンカー（引張り試験共）、防振ゴム、転倒防止措置共				
GHP S1-1	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.112kw 暖房 0.112kw	5	YZHP71NA 新設 普通教室　校長室
		能　力：冷房（定格）　7.1kw				
		能　力：暖房（定格）　8.0kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ95/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				
GHP S1-2	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.238kw 暖房 0.238kw	3	YZHP112NA 新設 職員室
		能　力：冷房（定格）　11.2kw				
		能　力：暖房（定格）　12.5kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				
GHP S1-3	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.219kw 暖房 0.219kw	4	YZHP90NA 新設 理科室　普通教室
		能　力：冷房（定格）　9.0kw				
		能　力：暖房（定格）　10.0kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				
GHP S1-4	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.107kw 暖房 0.107kw	1	YZHP45NA 新設 配膳室
		能　力：冷房（定格）　4.5kw				
		能　力：暖房（定格）　5.0kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ6.4/φ12.7　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				
GHP S1-5	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.108kw 暖房 0.108kw	1	YZHP56NA 新設 印刷室
		能　力：冷房（定格）　5.6kw				
		能　力：暖房（定格）　6.3kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ6.4/φ12.7　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				
GHP S1-6	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.107kw 暖房 0.107kw	3	YZHP36NA 新設 放送室　たんぽぽ　ひまわりルーム
		能　力：冷房（定格）　3.6kw				
		能　力：暖房（定格）　4.0kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ6.4/φ12.7　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				

記号	名称	仕様／形式	電源	消費電力(定格)	数量	備考
GHP S2	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室外機 【本館棟2階系統】	形　式：ハイパワーにこマルチ：新設用/一般地向機種	単相 200V		1組	YWZP560L1DB+YWZP710L1DB 新設
		20カ相当+25馬力相当　超小電力型GHP				
		【YWZP560L1D】　冷媒種類　R410A		冷房 1.26KW 暖房 0.568KW		
		能　力：冷房（定格）　56.0kw				
		能　力：暖房（定格）　63.0kw				
		ガス種：LPG　燃料消費量　冷房（定格）41.9kw				
		燃料消費量　暖房（定格）39.7kw				
		配管関係　冷媒　φ15.9/φ28.6				
		燃料ガス管　R3/4				
		付属品　分岐管・防雪ネット				
		既設基礎流用、あと施工アンカー（引張り試験共）、防振ゴム、転倒防止措置共				
		【YWZP710L1DB】　冷媒種類　R410A		冷房 1.76KW 暖房 1.32KW		
		能　力：冷房（定格）　71.0kw				
		能　力：暖房（定格）　80.0kw				
		ガス種：LPG　燃料消費量　冷房（定格）53.6kw				
		燃料消費量　暖房（定格）52.0kw				
		配管関係　冷媒　φ19.1/φ31.8				
		燃料ガス管　R3/4				
		付属品　分岐管・防雪ネット				
		既設基礎流用、あと施工アンカー（引張り試験共）、防振ゴム、転倒防止措置共				
GHP S2-1	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.112kw 暖房 0.112kw	10	YZHP71NA 新設 特別支援教室　普通教室 少人数教室
		能　力：冷房（定格）　7.1kw				
		能　力：暖房（定格）　8.0kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				
GHP S2-2	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.238kw 暖房 0.238kw	1	YZHP112NA 新設 かしの木2組
		能　力：冷房（定格）　11.2kw				
		能　力：暖房（定格）　12.5kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				
GHP S2-3	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.219kw 暖房 0.219kw	4	YZHP90NA 新設 かしの木1組　家庭科室
		能　力：冷房（定格）　9.0kw				
		能　力：暖房（定格）　10.0kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤレスリモコン・ドレンアップキット				

記号	名称	仕様／形式	電源	消費電力(定格)	数量	備考
GHP S3	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室外機 【1階系統】	形　式：ハイパワーにこマルチ：新設用/一般地向機種	単相 200V	冷房 0.49<1.17> (1台当たり) 暖房 0.26<1.03> (1台当たり)	1組	YDZP710J-PB#2 既設のまま
		25馬力相当*2　超小電力型GHP				
		能　力：冷房（定格）　71.0kw/1台当たり				
		能　力：暖房（定格）　80.0kw/1台当たり				
		ガス種：　燃料消費量　冷房（定格）54.4kw<52.9>kw				
		冷媒種類　R410A				
		配管関係　冷媒　φ19.1/φ31.8				
		燃料ガス管　R3/4				
		APF（EHP相当）　5.6				
		付属品　分岐管・防雪フード（風向調整板）				
GHP S3-1	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.111kw 暖房 0.111kw	4	YZHP71M 既設のまま 保健室　図書室
		能　力：冷房（定格）　7.1kw				
		能　力：暖房（定格）　8.0kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤードリモコン・ドレンアップキット				
GHP S3-2	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.237kw 暖房 0.237kw	6	YZHP112M 既設のまま 多目的スペース コンピューター室
		能　力：冷房（定格）　11.2kw				
		能　力：暖房（定格）　12.5kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤードリモコン・ドレンアップキット				
GHP S3-3	ガスヒートポンプ ビル用マルチ エアコン室内機	形式：天井吊形	単相 200V	冷房 0.218kw 暖房 0.218kw	6	YZHP90M 既設のまま 図工室　音楽室
		能　力：冷房（定格）　9.0kw				
		能　力：暖房（定格）　10.0kw				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		付属品　ワイヤードリモコン・ドレンアップキット				
GHP MC MC	集中管理 コントローラー	集中管理コントローラー：一括ON/OFF制御コントローラー	単相 100V		1	LS302C1：1台+LF301B1：2台 新設 職員室
		(品番：LS302C1)：1台				
		16グループON/OFF制御コントローラー（品番：LF301B1）：2台			2	
		職員室：盤表面に取付				
ACP 5.6	EHPヒートポンプ エアコン 室外機，室内機	形式：壁掛型（ワイヤレスリモコン共）インバーター	単相 200V	圧縮機 1.07kw 屋内ファン 0.030kw 屋外ファン 0.050kw 消費電力 2.410kw	2	SSRA56CNV　ダイキン 新設 1階配膳室　2階かしの木2組
		能　力：冷房（定格）　5.0(2.3~5.6)				
		能　力：暖房（定格）　5.6(2.6~7.1)				
		エアーフィルター　防カビ樹脂ネット				
		配管　冷媒：φ9.5/φ15.9　ドレン：VP20				
		2次側電源制御渡り配線：本工事				
		付属品　室外機：ブラケット架台（亜鉛メッキ仕上げ），防振ゴム共				
		集中リモコン用P板制御装置付				

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

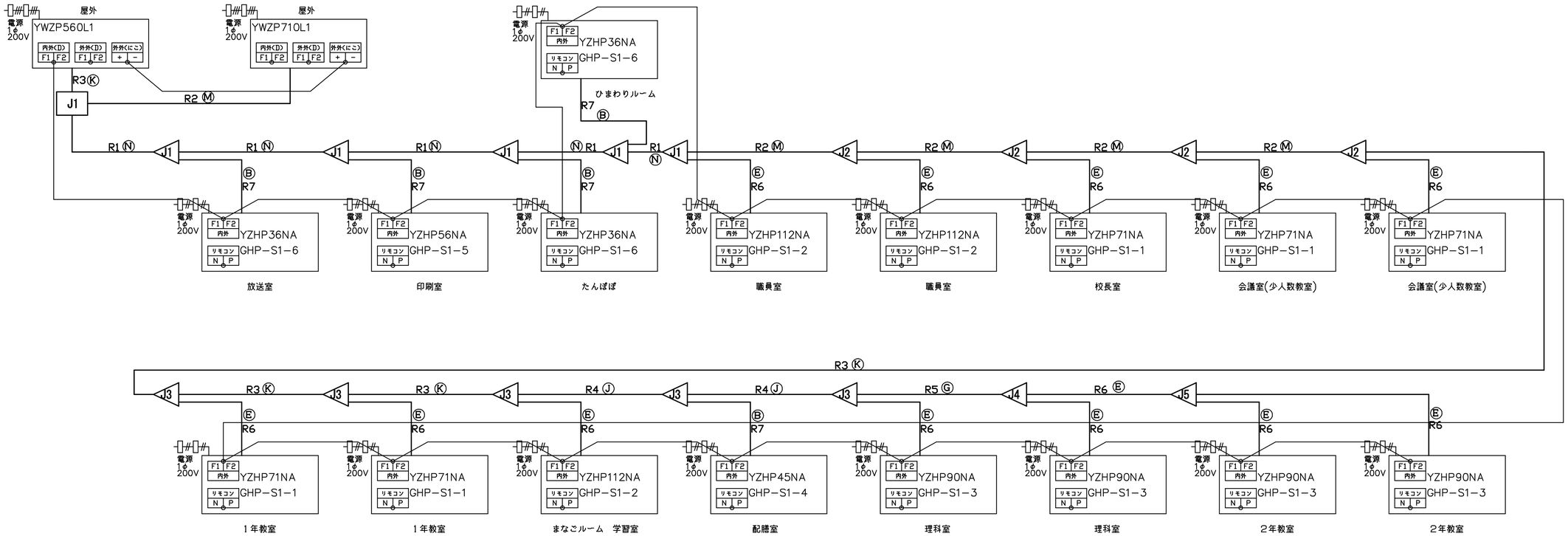
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事
空調設備図
新設、既設　機器リスト

SCALE 1：
1：
1：
1：

M

GHP-S1:系統

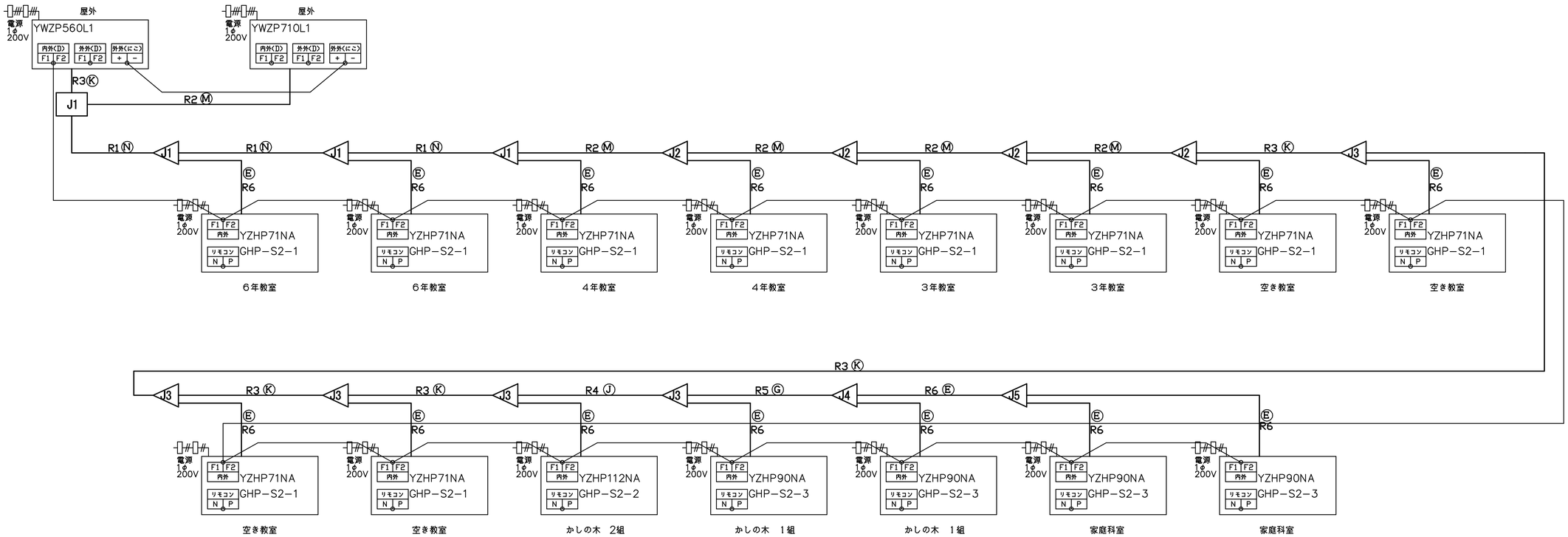


冷媒配管サイズ （液管×ガス管）			
Ⓐ	φ6.4 × φ9.5	Ⓗ	φ9.5 × φ25.4
Ⓑ R7	φ6.4 × φ12.7	Ⓘ	φ12.7 × φ25.4
Ⓒ	φ6.4 × φ15.9	Ⓙ R4	φ12.7 × φ28.6
Ⓓ	φ9.5 × φ12.7	Ⓚ R3	φ15.9 × φ28.6
Ⓔ R6	φ9.5 × φ15.9	Ⓛ	φ15.9 × φ31.8
Ⓕ	φ9.5 × φ19.1	Ⓜ R2	φ19.1 × φ31.8
Ⓖ R5	φ9.5 × φ22.2	Ⓝ R1	φ19.1 × φ38.1

注記：集中リモコン及び二次側渡り配線工事は全て機械設備工事とし、冷媒配管共巻きとする。

分岐管	型式	個数
J1	RBPP218Y	5
J2	RBPP104Y	4
J3	RBPP72Y	5
J4	RBPP33Y	1
J5	RBPP22Y	1

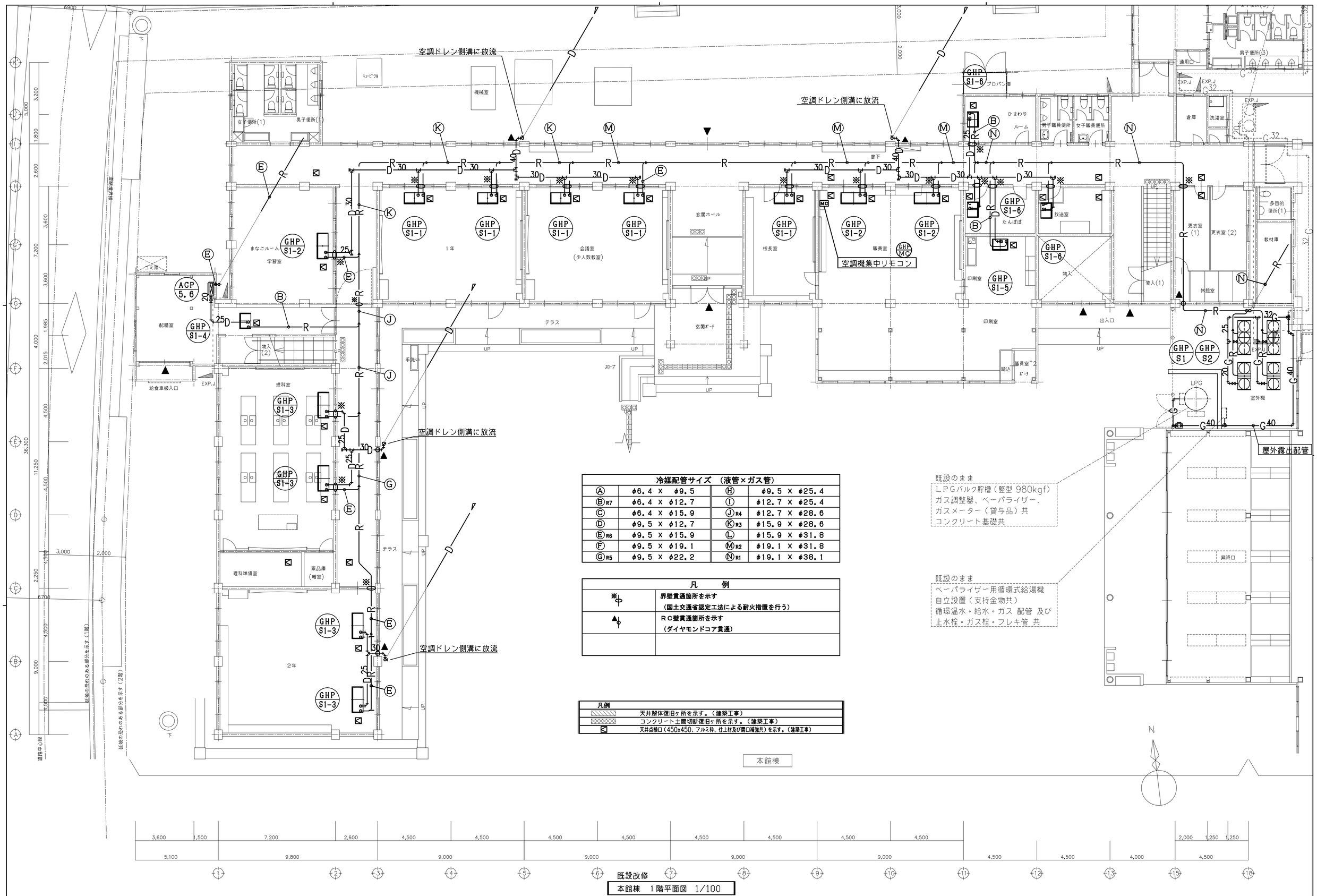
GHP-S2:系統



冷媒配管サイズ　(液管×ガス管)			
Ⓐ	φ6.4 × φ9.5	Ⓗ	φ9.5 × φ25.4
Ⓑ R7	φ6.4 × φ12.7	Ⓘ	φ12.7 × φ25.4
Ⓒ	φ6.4 × φ15.9	Ⓙ R4	φ12.7 × φ28.6
Ⓓ	φ9.5 × φ12.7	Ⓚ R3	φ15.9 × φ28.6
Ⓔ R6	φ9.5 × φ15.9	Ⓛ	φ15.9 × φ31.8
Ⓕ	φ9.5 × φ19.1	Ⓜ R2	φ19.1 × φ31.8
Ⓖ R5	φ9.5 × φ22.2	Ⓝ R1	φ19.1 × φ38.1

注記：集中リモコン及び二次側渡り配線工事は全て機械設備工事とし、冷媒配管共巻きとする。

分岐管	型式	個数
J1	RBPP218Y	4
J2	RBPP104Y	4
J3	RBPP72Y	5
J4	RBPP33Y	1
J5	RBPP22Y	1



冷媒配管サイズ （液管×ガス管）			
Ⓐ	φ6.4 × φ9.5	Ⓗ	φ9.5 × φ25.4
Ⓑ R7	φ6.4 × φ12.7	Ⓘ	φ12.7 × φ25.4
Ⓒ	φ6.4 × φ15.9	Ⓙ R4	φ12.7 × φ28.6
Ⓓ	φ9.5 × φ12.7	Ⓚ R3	φ15.9 × φ28.6
Ⓔ R6	φ9.5 × φ15.9	Ⓛ	φ15.9 × φ31.8
Ⓕ	φ9.5 × φ19.1	Ⓜ R2	φ19.1 × φ31.8
Ⓖ R5	φ9.5 × φ22.2	Ⓝ R1	φ19.1 × φ38.1

凡 例	
※	界壁貫通箇所を示す （国土交通省認定工法による耐火措置を行う）
▲	RC壁貫通箇所を示す （ダイヤモンドコア貫通）

凡例	
	天井解体復旧ヶ所を示す。（建築工事）
	コンクリート土間切断復旧ヶ所を示す。（建築工事）
	天井点検口（450x450、アルミ枠、仕上材及び開口補強共）を示す。（建築工事）

月 日		月 日		月 日	
訂正					

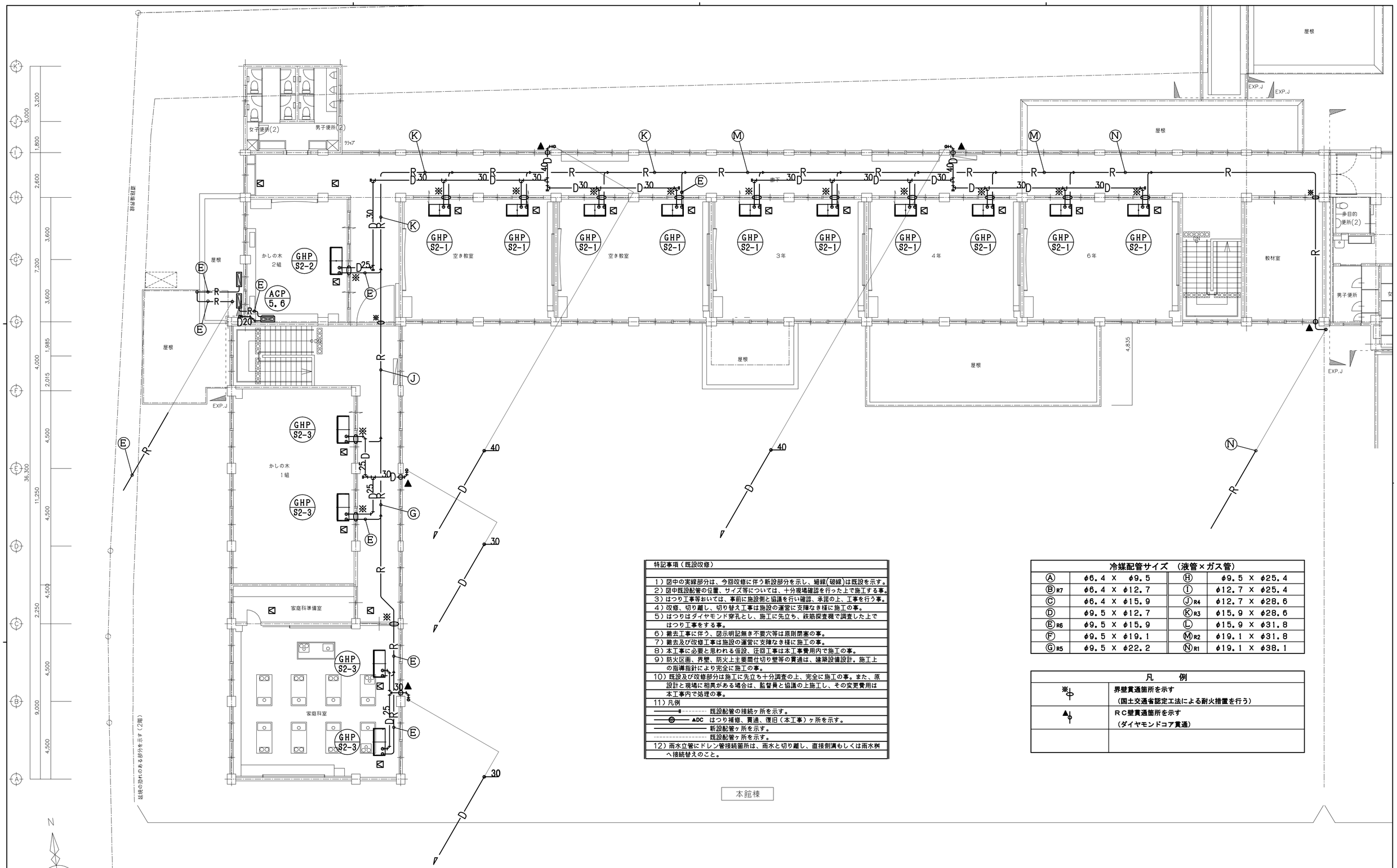
建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No.

工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1：	M
空調設備図	1：	No. 19/57
既設改修 1階平面図	1：100(A1)	
	1：200(A3)	



特記事項（既設改修）
1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線(破線)は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8）本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
9）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11）凡例
---------- 既設配管の接続ヶ所を示す。
▲DC はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
新設配管ヶ所を示す。
---------- 既設配管ヶ所を示す。
12）雨水立管にドレン管接続箇所は、雨水と切り離し、直接側溝もしくは雨水桝へ接続替えのこと。

本館棟

冷媒配管サイズ （液管×ガス管）			
Ⓐ	φ6.4 × φ9.5	Ⓗ	φ9.5 × φ25.4
Ⓑ R7	φ6.4 × φ12.7	Ⓘ	φ12.7 × φ25.4
Ⓒ	φ6.4 × φ15.9	Ⓙ R4	φ12.7 × φ28.6
Ⓓ	φ9.5 × φ12.7	Ⓚ R3	φ15.9 × φ28.6
Ⓔ R6	φ9.5 × φ15.9	Ⓛ	φ15.9 × φ31.8
Ⓕ	φ9.5 × φ19.1	Ⓜ R2	φ19.1 × φ31.8
Ⓖ R5	φ9.5 × φ22.2	Ⓝ R1	φ19.1 × φ38.1

凡　　例	
※	界壁貫通箇所を示す （国土交通省認定工法による耐火措置を行う）
▲	ＲＣ壁貫通箇所を示す （ダイヤモンドコア貫通）

既設改修

本館棟　２階平面図　1/100

訂正	月	日		月	日		月	日	
	・			・			・		
	・			・			・		
	・			・			・		

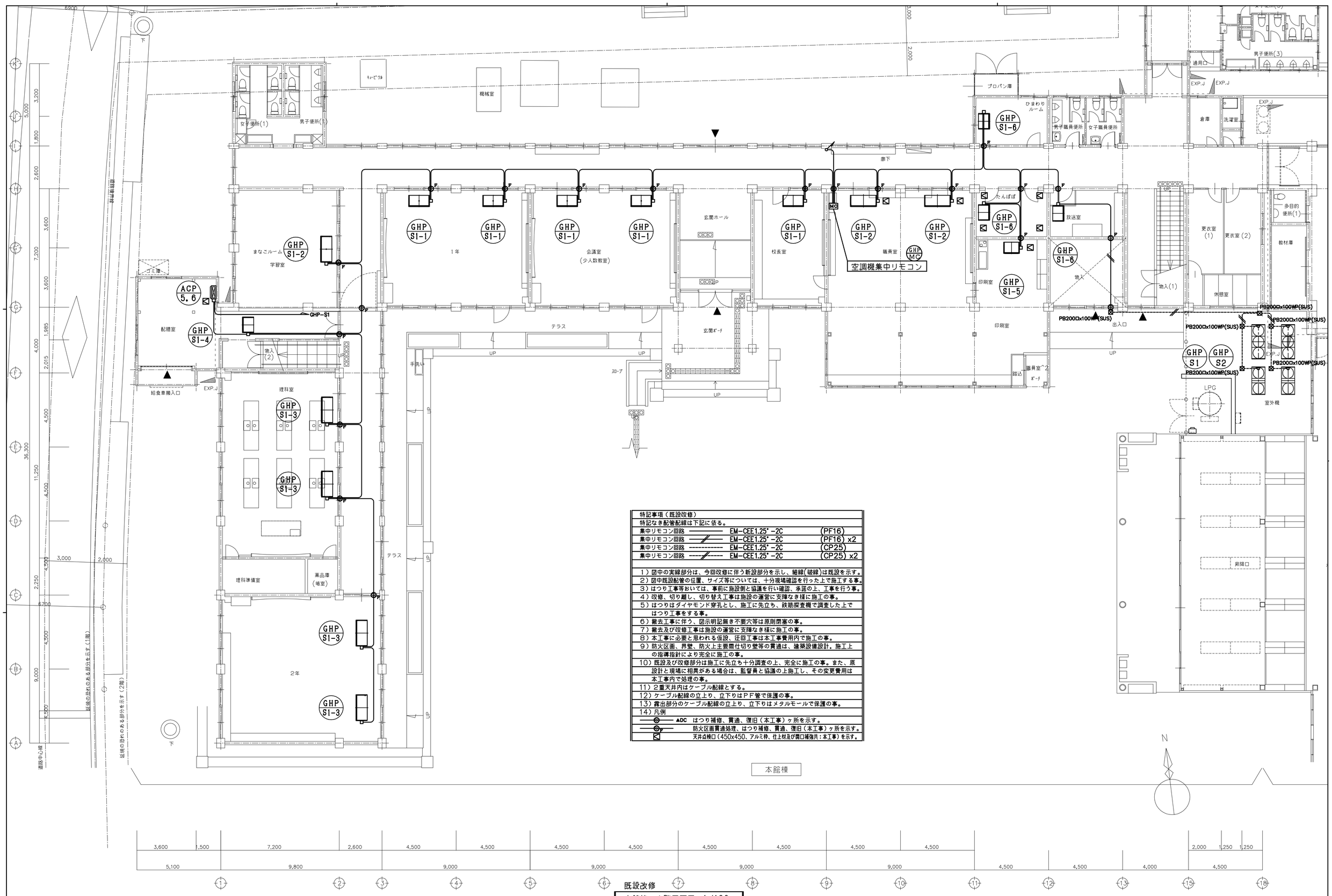
建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE	1 :	M
空調設備図		1 :	No. 20/57
既設改修　２階平面図		1 : 100 (A1)	
		1 : 200 (A3)	



特記事項（既設改修）			
特記なき配管配線は下記に依る。			
集中リモコン回路	————	EM-CEE1.25*-2C	(PF16)
集中リモコン回路	—//—	EM-CEE1.25*-2C	(PF16) x2
集中リモコン回路	- - - - - -	EM-CEE1.25*-2C	(CP25)
集中リモコン回路	-//- - - -	EM-CEE1.25*-2C	(CP25) x2

1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線(破線)は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8）本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
9）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11）２重天井内はケーブル配線とする。
12）ケーブル配線の立上り、立下りはＰＦ管で保護の事。
13）露出部分のケーブル配線の立上り、立下りはメタルモールで保護の事。
14）凡例

—②— ▲DC	はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
—②F—	防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
⊠	天井点検口（450x450、アルミ枠、仕上材及び開口補強共：本工事）を示す。

既設改修

本館棟　1階平面図　1/100

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

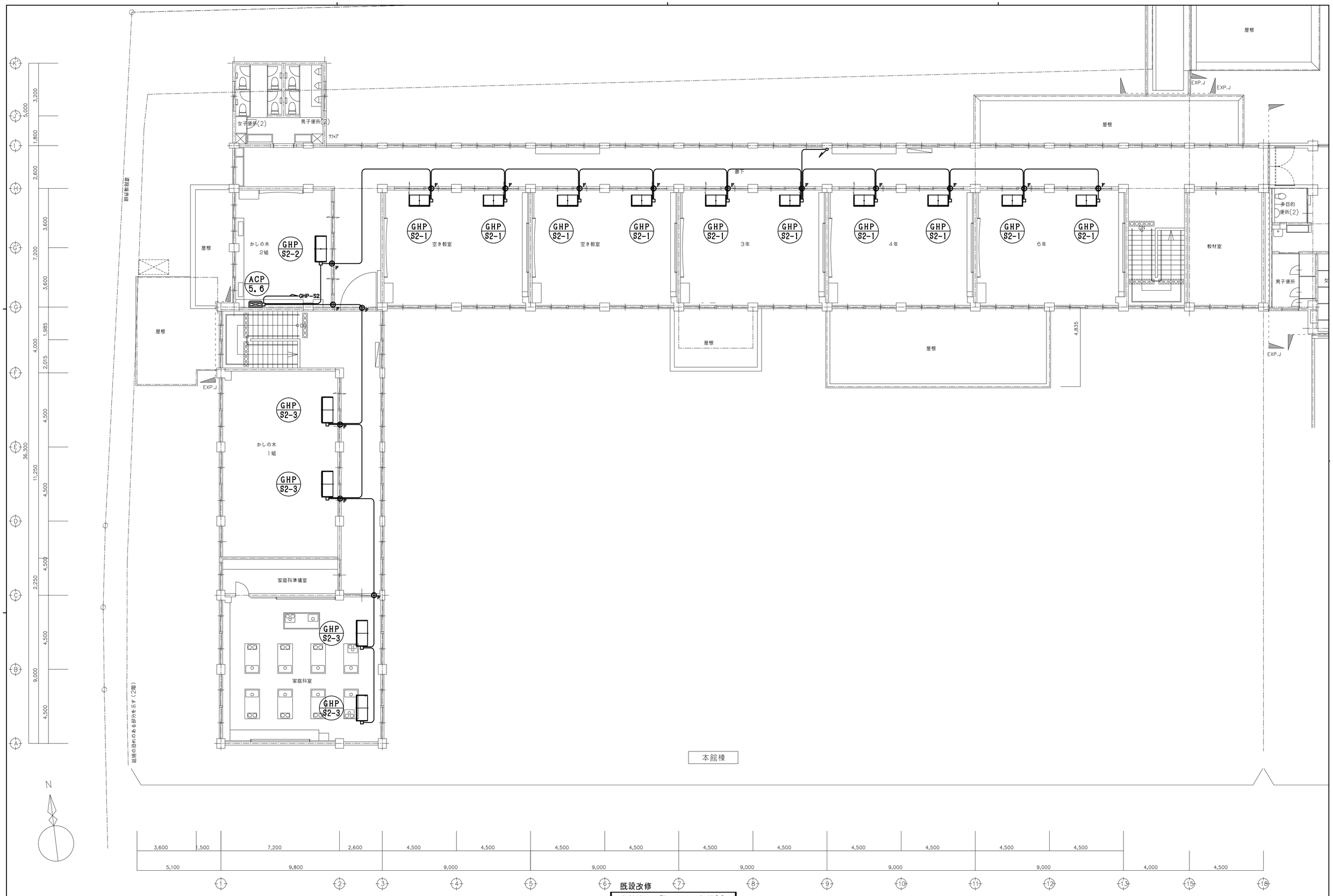
FILE No.

工事名：浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事
空調リモコン配線設備図
既設改修　1階平面図

SCALE 1：1：100(A1) 1：200(A3)

No. M 21/57



訂正	月	日	月	日	月	日
	・		・		・	
	・		・		・	
	・		・		・	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

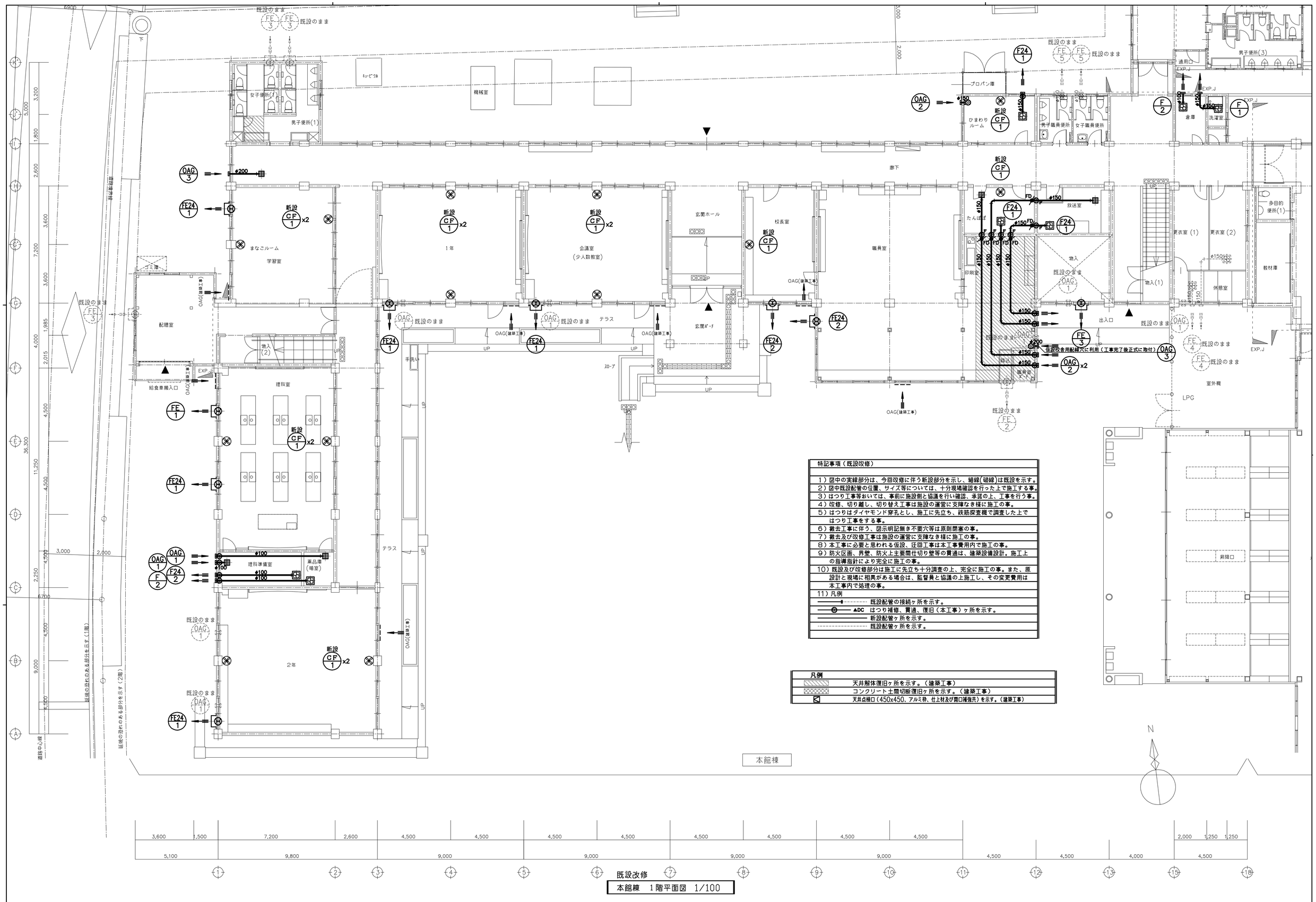
FILE No.

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE	1 :	M
空調リモコン配線設備図		1 :	No. 22/57
既設改修　2階平面図		1 : 100 (A1)	
		1 : 200 (A3)	

新設 機器リスト　浅井小学校

図面記号	名称	仕様	電気容量	数量	備考
FE24-1	換気扇	型式　窓枠取付格子型（シックハウス対応型）　化粧枠アタッチメント共	1φ 100V 48 W	13	EX-30SC4　三菱同等品
		羽根径　φ 300 mm　風量　1190(620) m^3／h　電気式シャッター			新設
		防虫網付ステンレス製ウェザーカバー（指定色塗装）　コントロールスイッチ（24時間換気専用）共			
		注記：（　）はシックハウス用及び無窓用換気風量を示す。			
FE24-2	換気扇	型式　窓枠取付格子型（シックハウス対応型）　化粧枠アタッチメント共	1φ 100V 38 W	2	EX-25SC4　三菱同等品
		羽根径　φ 250 mm　風量　860(445) m^3／h　電気式シャッター			新設
		防虫網付ステンレス製ウェザーカバー（指定色塗装）　コントロールスイッチ（24時間換気専用）共			
		注記：（　）はシックハウス用及び無窓用換気風量を示す。			
F24-1	天井扇	型式　低騒音。インテリア格子タイプ型（シックハウス対応型）	1φ 100V 21 W	4	VD-18ZVX6-C　三菱同等品
		ダクト径　φ 150 mm　風量　300(50) m^3／h　静圧　0 Pa			新設
		防虫網付ステンレス製深型フード（指定色塗装）　コントロールスイッチ（24時間換気専用）共			
		注記：（　）はシックハウス用及び無窓用換気風量を示す。			
F24-2	天井扇	型式　低騒音。インテリア格子タイプ型（シックハウス対応型）	1φ 100V 20 W	1	VD-15ZVX6-C　三菱同等品
		ダクト径　φ 100 mm　風量　160(50) m^3／h　静圧　0 Pa			新設
		防虫網付ステンレス製深型フード（指定色塗装）　コントロールスイッチ（24時間換気専用）共			
		注記：（　）はシックハウス用及び無窓用換気風量を示す。			
FE-1	換気扇	型式　窓枠取付格子型　化粧枠アタッチメント共	1φ 100V 48 W	3	EX-30SC4-S　三菱同等品
		羽根径　φ 300 mm　風量　1190 m^3／h　電気式シャッター			新設
		防虫網付ステンレス製ウェザーカバー（指定色塗装）			
FE-3	換気扇	型式　窓枠取付格子型　化粧枠アタッチメント共	1φ 100V 18 W	1	EX-20SC4-S　三菱同等品
		羽根径　φ 200 mm　風量　540 m^3／h　電気式シャッター			新設
		防虫網付ステンレス製ウェザーカバー（指定色塗装）			
F-1	天井扇	型式　低騒音。インテリア格子タイプ型	1φ 100V 28.5 W	1	VD-18ZX13-C　三菱同等品
		ダクト径　φ 150 mm　風量　280 m^3／h　静圧　0 Pa			新設
		防虫網付ステンレス製深型フード（指定色塗装）			
F-2	天井扇	型式　低騒音。インテリア格子タイプ型	1φ 100V 14 W	2	VD-15ZX13-C　三菱同等品
		ダクト径　φ 100 mm　風量　155 m^3／h　静圧　0 Pa			新設
		防虫網付ステンレス製深型フード（指定色塗装）			
CF-1	サイクル扇	型式　壁掛型サイクル扇、引きひもタイプ	1φ 100V 35 W	29	K30-YQ(W)　三菱同等品
		羽根径　φ300 mm　風量　2850 m^3／h　最大風速　3.6 m／S			新設
		引きひも共			
OAG-1	給気グリル	型式　プラスチック製角型給排気グリル（壁・天井取付タイプ）フィルター付		2	AT-100QKKN3　メルコエアテック賀等品
		ダクト径　φ 100 mm　排気局部抵抗係数　3.32　給気局部抵抗係数　3.72			新設
		グリル寸法　170 × 170　風量調整機構付　防虫網付ステンレス製深型フード（指定色塗装）			
OAG-2	給気グリル	型式　プラスチック製角型給排気グリル（壁・天井取付タイプ）フィルター付		4	AT-150QKKN3　メルコエアテック賀等品
		ダクト径　φ 150 mm　排気局部抵抗係数　4.32　給気局部抵抗係数　4.79			新設
		グリル寸法　225 × 225　風量調整機構付　防虫網付ステンレス製深型フード（指定色塗装）			
OAG-3	給気グリル	型式　プラスチック製角型給排気グリル（壁・天井取付タイプ）フィルター付		3	AT-200QKKN3　メルコエアテック賀等品
		ダクト径　φ 200 mm　排気局部抵抗係数　5.42　給気局部抵抗係数　5.24			新設
		グリル寸法　285 × 285　風量調整機構付			
		防虫網付ステンレス製深型フード（指定色塗装）			
		注記：数量及び台数については、平面図より拾い出す事。			



特記事項(既設改修)

1)図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線(破線)は既設を示す。
2)図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3)はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4)改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5)はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6)撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7)撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8)本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
9)防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
10)既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11)凡例
既設配管の接続ヶ所を示す。
▲DC はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
新設配管ヶ所を示す。
既設配管ヶ所を示す。

凡例
天井解体復旧ヶ所を示す。(建築工事)
コンクリート土間切断復旧ヶ所を示す。(建築工事)
天井点検口(450x450、アルミ枠、仕上材及び開口補強共)を示す。(建築工事)

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No.

工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(機械設備)
DATE . . :

機械設備工事
換気設備図
既設改修 1階平面図

SCALE 1: / 1: / 1:100(A1) / 1:200(A3)

M

No. 24/57